

沼津市の

社協活動

2025



社会福祉法人沼津市社会福祉協議会

社会福祉協議会の沿革

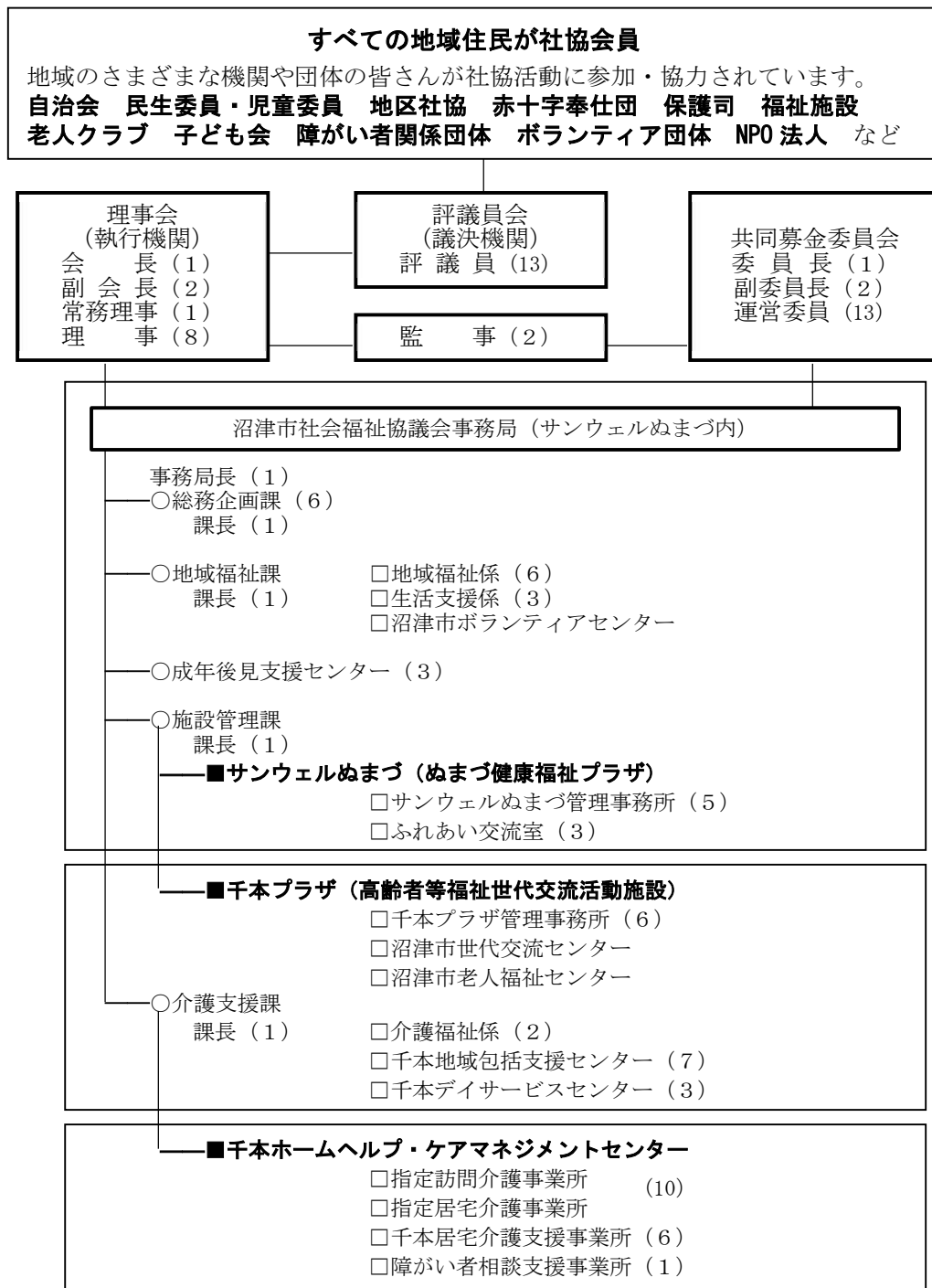
社会福祉協議会は、地域住民自らの福祉増進のために、住民が主体となり、社会福祉、保健衛生、その他の関連する公私関係者の参加協力を得て、住民の要望に即した活動を推進することを目的とした民間の自主的な団体です。

沼津市では昭和 26 年 10 月に設立され、全市民の理解と協力により組織活動が続けてきましたが、社会情勢の変化にともない更に社会福祉の向上を図るため、昭和 41 年 10 月に社会福祉法人の認可申請を行い、昭和 42 年 2 月 28 日に厚生大臣の許可を得、同年 3 月 11 日に法人として登記を行いました。以後、地域における民間福祉活動の推進機関として組織活動を展開し、地域福祉推進の中核組織として市民の皆さまとともに活動が続けております。

令和 7 年 6 月 1 日現在

社協のしくみ

() 内は人数です。



社協は住民主体の地域福祉をすすめる民間団体です

発刊にあたり

近年、わが国の社会福祉を取り巻く環境は、少子・高齢化や核家族化の進展により、介護・子育てに対するニーズが増大するとともに、一方では生活困窮、子供の貧困、高齢者の社会的孤立などが社会問題化するなど大変厳しいものがあります。また最近、地震をはじめ異常気象による災害が多発し地域住民の生活が脅かされることも多くなりました。このような中、地域社会における支えあい活動の取り組みは大変重要であり、その役割はますます大きなものとなってきております。

令和3年度より実施しています（福）沼津市社会福祉協議会「第5次地域福祉活動計画」は、基本目標に「ともにつながり、ともにささえあう、元気なまちづくり」を掲げ、誰もが幸せを感じることでできる地域共生社会の実現を目指しており、計画最終年度となる本年度も、「つなぐ・つなげる」をキーワードとする3つの主な柱を設定し事業を実施しております。

一つめの、【福祉人材発掘・育成】では、児童、生徒に対する福祉体験活動をはじめ、各種ボランティア養成講座などを通じて、住民の福祉を知る機会の提供、情報発信、広報啓発などを推進してまいります。

二つめの、【福祉の地域づくり】では、地区ごとに生活支援コーディネーターを配置するとともに、地区社会福祉協議会等と連携し、住民主体の小地域ネットワークづくり、見守りネットワークの組織化、住民参加型在宅支援サービスの立ち上げ、普及などを支援してまいります。

三つめの、【福祉サービスの強化】では、安心な暮らしを守るため、成年後見制度の利用促進や災害時における支援活動整備の推進、個々の職員の資質向上を目的とした研修体制の充実、さらには、本会に求められる新たな事業開拓などにも努めてまいります。

本書では、本協議会の活動について、令和6年度に実施した各事業の事業報告と、令和7年度の事業計画を中心に掲載いたしましたので、ぜひご高覧いただき、本協議会の事業運営にご理解を賜るとともに、今後の活動に対し、ご教示、ご協力をいただければ幸いです。

結びに、今年度も市民の皆様や関係機関の方々の参画をいただきながら、地域福祉ニーズに対応した事業の再編と体制整備を行い、地域に密着した福祉活動を更に推進してまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、発刊のあいさつといたします。

令和7年7月

社会福祉法人 沼津市社会福祉協議会

会 長 ^{とぎ} ^や 谷 明 正

目 次

令和6年度事業報告

第 1	社会福祉協議会の運営財源と令和6年度決算の状況	1
第 2	地域福祉推進事業	2
第 3	一般福祉対策事業	7
第 4	福祉総合相談事業	15
第 5	福祉資金貸付事業	17
第 6	権利擁護事業	18
第 7	ボランティアセンター事業	20
第 8	共同募金運動推進事業	27
第 9	在宅福祉サービス事業	30
第 10	福祉サービス事業の受託運営	34
第 11	役員会等の開催状況	47

令和7年度事業計画

	事業計画策定にあたって	48
第 1	重点活動	48
第 2	一般事業計画	49
第 3	令和7年度予算の概要	52
第 4	令和7年度年間事業計画	54

役員等名簿

第 1	沼津市社会福祉協議会理事・監事	58
第 2	沼津市社会福祉協議会評議員	59
	地区社会福祉協議会一覧表	60
	社会福祉法人沼津市社会福祉協議会の沿革	61

令和6年度事業報告

第1 社会福祉協議会の運営財源と令和6年度決算の状況

沼津市社会福祉協議会（以下「沼津市社協」）は、市民の方々が会員となる一般会員と、個人・法人の賛助会員、市内の社会福祉施設が加入する施設会員等の各会費収入と、市・県の補助金、受託金、共同募金からの配分金及び介護保険収入並びに善意の寄付金などの運営財源により事業運営を図っています。

特に、賛助会費については、民生委員・児童委員各位のご協力をいただき、鋭意、会員の加入増加に努めております。令和6年度の会費収入の内訳は、次のとおりです。

一般会費		1世帯 200 円	市内全体	13,486,620 円
賛助会費	普通賛助会費	1口 1,000 円以上	1,949 件	3,033,500 円
	特別賛助会費	1口 5,000 円以上	242 件	1,510,000 円
	福祉事業会費	1口 5,000 円	84 件	420,000 円
合 計				18,450,120 円

1 令和6年度社会福祉協議会会計収支決算の状況

収 入 合 計	834,064,602 円
支 出 合 計	696,196,660 円
差 引 残 高	137,867,942 円

収 入	受 託 金 収 入	328,005,378 円	39.33%
	介 護 保 険 事 業 収 入	205,109,440 円	24.59%
	前 年 度 繰 越 金	148,279,906 円	17.78%
	経 常 経 費 補 助 金 収 入	57,455,264 円	6.89%
	障 害 福 祉 サ ー ビ ス 等 事 業 収 入	26,195,593 円	3.14%
	会 費 収 入	18,450,120 円	2.21%
	そ の 他 の 収 入	14,865,011 円	1.78%
	寄 付 金 収 入	23,695,951 円	2.84%
	事 業 収 入	10,493,193 円	1.26%
	貸 付 事 業 収 入	1,210,730 円	0.14%
	負 担 金 収 入	304,016 円	0.04%

支 出	介 護 福 祉 事 業	286,248,562 円	41.12%
	本 部 事 業	196,888,428 円	28.28%
	ぬまづ健康福祉プラザ受託経営事業	124,438,519 円	17.87%
	千本プラザ受託経営事業	88,419,351 円	12.70%
	不 動 産 管 理 事 業	201,800 円	0.03%

第2 地域福祉推進事業

1 地区社協活動の推進

地区社会福祉協議会（以下、「地区社協」）は、中学校区を単位に市内 20 地区で組織されており、それぞれの地域ニーズに対応した福祉活動が展開されるよう、各種関係団体と連携しながら地区社協活動の育成支援に取り組んでおります。

（１）世代交流活動の実施

住民相互のふれあいと連携意識の高揚を図る目的で、高齢者宅へお弁当の配布やもちつき大会等、地区の特性に応じた地域交流活動実施の支援を行いました。

また、高齢者の買い物支援もふくめた住民主体の移動販売「町の駅」が 2 地区で開催され、子どもから高齢者まで多世代が交流する場の支援も実施しました。

（２）子育て支援活動の実施

子育てをしている親及び子どもを対象に、子育てサークル活動を通じて親同士の交流と地域で子育てを支えることを目的とした、支援活動が各地区で実施される際の支援を行いました。

（３）健康づくり講座の開催

地域住民の健康づくりのため、ノルディックウォーキングや健康講座、体操教室などの開催支援を行いました。

（４）ボランティア活動の実施

住民主体の地域福祉の推進には、地域に根ざしたボランティア活動の実践が不可欠です。各地区社協では、高齢者等に対する様々なボランティア活動を展開しました。

（５）小地域ネットワーク活動の実践

緊急時に役立つ救急医療情報キットを高齢者の見守りのツールの一つとして普及・啓発活動を行いました。

（６）先進地視察研修

地域課題の解決に向け、先進地の取り組みを学ぶ視察研修を行いました。令和 6 年度は、12 月 6 日に静岡県藤枝市葉梨交流センターにて、小地域福祉計画に基づく地域活動の推進について葉梨地区社協の時代に合わせた取り組みを視察し、各地区の地域福祉活動に活かしました。

（７）地域福祉ワークショップの開催

地区社協など地域住民が現在の地域の福祉課題、ニーズを確認し、時代に合わせて自分の地域では何ができるか、また、10 年先の未来を見据え、なりたい地域を考えるきっかけづ

くりとして開催致しました。地区社協役員を中心に 29 名が参加され、バックキャスティングの考え方をを使って、なりたい地域にむけて各地区の活動をふりかえり、今後の取り組みを検討しました。

2 生活支援体制整備事業の実施

生活支援体制整備事業は、介護保険法の中で高齢者が地域で自立した日常生活を送るための生活支援の充実・強化と、社会参加による介護予防の推進を一体的に図っていくことを目的とした事業です。

住み慣れた場所で健康で生きがいをもって暮らしていくために、それぞれの健康状態に応じて、介護予防や社会参加に努めながら必要な時に支援が受けられ、また、誰かが助けを必要とする時には、自分が支援する役割と出番のある地域づくりが必要になります。

令和 6 年度も沼津市社協が沼津市から委託を受け、市内全域（第 1 層）及び日常生活圏域（第 2 層）に「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」を配置し、助け合い・支え合いを広げる仕組みづくりを推進しました。

（１）高齢者の外出支援の担い手養成講座の開催

運転免許返納や路線バスの減少等により、移動困難者が増えている現状を踏まえ、住民同士の支え合いで行うため、「移動支援の担い手養成講座」を 6 月 29 日に戸田地区にて行いました。

いつまでも住み慣れた地域で自分らしく生活する為には、免許を返納した後も、閉じこもりにならず、外出や人と交流する機会をもつことが重要です。公共交通機関の活用はもちろんのこと、住民同士の支え合いで行う移動支援の事例を学び、自身の運転技術の振り返りを行いながら、住民同士でできることを検討しました。



（戸田地区での「移動支援の担い手養成講座」）

（２）協議体の開催

地域の関係団体等が集まり、福祉ニーズや課題の共有を行い、支え合いの仕組みづくりを検討する場「協議体」を市内各圏域で開催しました。

移動支援や生活支援サービスの検討、孤立孤独防止に向けた取り組み、いくつになっても

住み慣れた場所で暮らせる地域づくり、居場所づくりなど、生活支援コーディネーターが進行役となり、様々なテーマで話し合いを行いました。

この話し合いを経て、新たな地域の居場所や、令和5年度の戸田地区に続き大平地区でも住民主体の生活支援サービス「ちいさなお手伝い」が創設されました。

（３）地域ささえあい講演会の開催

地域でのリーダーとして活躍する方に向け、多様な主体による地域活動を周知し、新たな担い手の発掘と専門職との連携を促すことや地域活動の内容充実を図ることを目的に講演会を実施しました。9月7日にサンウェルぬまづにて、多様な主体による地域活動である「コミュニティナース」の見守り実践発表を行い、地域住民等42名が参加しました。地域の中で、健康的な視点で見守りや声かけ活動をすることで、地域でのちょっとした困りごとを抱えた方が助かったり、社会的孤立の予防になったり、また活動者自身も元気になれるという実践を聞き、具体的な活動の検討をはじめた参加者もいました。



（実践発表とグループワーク）

（４）居場所に関する相談支援、情報共有の実施

ふらっと立ち寄っておしゃべりをしたり、体操をしたり、趣味活動を行うなど、自宅以外のもう一つの拠り所である居場所づくりをしたい方への相談に応じ、立ち上げに向けた情報提供、支援を通年で行いました。また、9月7日には、居場所運営者同士の交流会を含めた居場所立上げセミナーを実施し、49名の参加がありました。新たに居場所を立ち上げた方の参加も促し、実践者の助言を得て、創設に向けた動きに繋がりました。

（５）ICTの活用促進

高齢者の社会参加の方法として、スマートフォンやオンラインの活用は非常に効果的であることから、各地区で高齢者向けスマホ講座の開催の支援を行いました。令和6年度も飛龍高等学校の協力を得て、高校生がマンツーマンで高齢者にスマートフォンの使い方を伝授する講座を開催し、スマホの使い方のみならず、世代を超えた交流にもなりました。また、沼津信用金庫デジタルサポーターとも連携し、各地区でのサロンやイベント等にてスマホ講座を開催しました。

3 住民参加型在宅福祉サービス事業（名称：「ちょいてつサービス事業」）

地域の中での制度では対応できない生活上のちょっとした困りごとを解決するため、地域住民が主体となり「できるときに、できることを、できる人が、ちょっとしたお手伝いをする」を合言葉に、ボランティアとして活動する“ちょいてつさん”が、支援を必要とする人“おねがいさん”の在宅生活のサポートをする会員制の地域助け合いサービスを行いました。

ちょいてつサービス活動状況

	R 6 年度	R 5 年度	R 4 年度
おねがいさん（サービス依頼者）登録者数	233 名	185 名	130 名
ちょいてつさん（ボランティア）登録者数	242 名	206 名	183 名
実働数（1回30分）	3,320 回	3,279 回	2,725 回

4 こどもの居場所づくりコーディネート事業

こどもが一人でも安心して過ごせる、住民主体のこどもの居場所の創設・運営支援を実施しました。こどもの居場所創設に向けての相談や、居場所活動を応援する支援者・団体とのマッチング、居場所活動の周知や参加者募集に関する広報の支援等を実施しました。

市民の皆様や、企業から食品や菓子、文房具等たくさんの寄付により、居場所に参加する子どもたちの元へ届けることができました。こどもの居場所は、新たに立ち上がった5ヶ所を加えた合計27ヶ所での活動となりました。

また、こどもの居場所づくりを行うボランティアを養成することを目的に、6月にこどもの居場所づくりセミナーを開催しました。5月と11月には居場所づくり実践者や関係機関との連絡会を開催し、居場所同士のネットワークづくりと協力関係の強化を図りました。



（こどもの居場所セミナー）



（企業からクリスマスプレゼントの寄付）



5 「沼津市介護家族の会」への支援活動

家庭で高齢者の介護にあたっている人の当事者活動を育成、支援するために、関係者の協力により設立された「沼津市介護家族の会」が中心となって行う、介護家族のための茶話会、昼食懇談会、リフレッシュ交流会等の開催を支援しました。

令和6年度 沼津市介護家族の会への支援活動

	開催日・回数	参加人数
介護者リフレッシュ交流会	11月14日	17人
認知症介護家族のための茶話会	12回	延べ 151人
昼食懇談会	2回	延べ 28人



（認知症介護家族のための茶話会）



（昼食懇談会でのマリンバ演奏）

第3 一般福祉対策事業

※＜ ＞内は令和6年度の実績です。

1 援護事業（低所得階層対策等）

地域における社会福祉の一環として、低所得世帯などの自立更生と火災等被災世帯の問題解消を図ることを目的に、下記の法外援護の充実に努めました。

（１）医療援護

医療費の支払いが困難な低所得世帯に対する医療費援護は、令和6年度はありませんでした。
＜0件／0円＞

（２）災害援護

火災及び水害等により被災された世帯に対して見舞金を支給しました。

＜火災 9件／80,000円＞

＜水害 41件／205,000円＞

（３）緊急援護

緊急かつ一時的な生活困窮状態にある世帯に対し、供給停止状態もしくはそのおそれのある水道光熱費用等を支給しました。
＜21件／193,000円＞

（４）食料配布相談会の実施

学校給食が停止する長期休暇中の子どもの食を守ることを目的に、12月22日に「食料配布&困りごと相談会」を行い、生活に困窮する15世帯へ食料品をお渡ししました。

また、食支援をきっかけに子育てや生活に関する困りごとを把握し、困りごとの解決に向け、適切な機関へつなげる対応をしました。

（５）食支援ネットワークの構築

物価高騰等により食支援ニーズが増すなか、市内の支援者から集まる物資だけでは困っている世帯に食料品が行き届かない現状があります。企業や福祉施設、市民団体、こどもの居場所等と連携し、県外からの大口寄付を受け入れ、必要としている人へ食料品が迅速に行き渡るネットワークと環境整備に取り組みました。市内8カ所のこども食堂を中心にネットワーク構築を行い、活動者同士の情報共有が始まりました。

2 児童福祉対策

民生委員児童委員協議会、子ども会育成連絡協議会ほか各種団体との連携を基に児童福祉対策の充実に努めました。

（１）ひとり親福祉対策事業助成

ひとり親世帯に対しては、母子及び父子並びに寡婦福祉法により、その生活の安定と向上のため援護施策が推進されており、これらの諸施策に協力するとともにひとり親会の運営について助成を行いました。

区 分		金 額
助 成 金	沼津市ひとり親会事業助成	35,000 円

（２）ヤングケアラー啓発事業

３月 27 日に「映画上映会とグループワーク」を開催し、36 名が参加しました。ヤングケアラーを題材とした映画上映と参加者同士のグループワークをとおして、“人を思いやる”“気にかける”などケアの精神を学び、自身に何かできるのかを考える機会となりました。



（映画上映会）



（グループワーク）

３ 高齢者福祉対策

本市においても、高齢化が急速に進む中、高齢者をめぐる環境や多様化するニーズに適応した高齢者福祉の充実に努めました。

（１）老人クラブ活動事業に対する助成

老人クラブ運営基準に基づき、市に協力して沼津市老人クラブ連合会の健全運営の援助や老人クラブの活動育成を図るとともに、各種事業に助成しました。

区 分		金 額
沼津市老人クラブ連合会助成金	運営助成金	45,000 円
	行事助成金	100,000 円

4 心身障がい者福祉対策

心身障がい者施策の趣旨普及を図るとともに、関係団体の事業に対し助成を行いました。

(1) 車いすの貸出

在宅の高齢者や障がい者で緊急かつ一時的に車いすの借り受けを必要とする人、または福祉教育活動やボランティア活動を実施する学校やボランティアグループ等に対し、無償で車いすを貸し出しました。
＜貸出件数／延べ 83 件＞

5 福祉教育事業

(1) 福祉教育の推進

福祉講話及び体験型の福祉出前講座を実施しました。また、市内の学校等からの福祉教育に関する相談に対応しました。
＜福祉出前講座／延べ 40 件＞

令和 6 年度 福祉出前講座

日付	対 象	内 容
4/30	沼津市立開北小学校	講話「福祉って何だろう？」
5/8	沼津市立開北小学校	福祉体験「車いす、白杖」
5/16	沼津市立大岡小学校	講話「福祉って何だろう？」
5/23	沼津市立第五小学校	講話「福祉って何だろう？」
		福祉体験「高齢者疑似」
5/29	沼津市立第三小学校	講話「福祉って何だろう？」
5/30	沼津市立第五小学校	講話「盲導犬利用者のお話」
6/6	沼津市立第五小学校	福祉体験「ボッチャ」
6/7	沼津市立金岡小学校	講話「福祉って何だろう？」
6/12	沼津市立第三小学校	福祉体験「車いす、アイマスク」
6/13	沼津市立第五小学校	福祉体験「車いす」
6/20	沼津市立大岡小学校	福祉体験「点字、手話」
6/24	沼津市立大岡小学校	福祉体験「車いす体験、高齢者疑似体験、ボッチャ」
6/25	沼津市立大岡南小学校	講話「盲導犬利用者のお話」
6/27	沼津市立片浜中学校	福祉体験「ボッチャ」
7/4	沼津市立片浜中学校	講話「手話」
9/17	沼津市立第二中学校	福祉体験「高齢者疑似体験」
9/26	沼津市立片浜中学校	講話「手話」
10/11	沼津市立金岡中学校	講話「福祉施設について」
10/15	沼津市立第二中学校	福祉体験「車いす」
10/16	沼津市立片浜小学校	福祉体験「高齢者疑似体験、ボッチャ」

日付	対 象	内 容
10/18	沼津市立大岡中学校	講話「ユニバーサルデザインとバリアフリー」
10/22	沼津市立大岡中学校	福祉体験「車いす、アイマスク・白杖」
10/31	沼津市立金岡小学校	福祉体験「車いす、アイマスク・白杖」
10/31	沼津市立門池中学校	講話「福祉って何だろう？」
11/7	沼津市立門池中学校	講話「ユニバーサルデザインとバリアフリー」
11/9	沼津市青年教養講座受講者	講話「ボランティアについて」
11/14	沼津市立片浜中学校	福祉体験「技術系災害ボランティア、管理栄養士、作業療法士、車いすバスケ」
11/20	沼津市立原小学校	講話「災害について」
11/29	沼津市立第三小学校	福祉体験「高齢者疑似体験」
12/2	第五地区南連合自治会	福祉体験「車いす介助」※防災訓練の一環として
12/4	沼津市立門池中学校	福祉体験「車いす、白杖、高齢者疑似体験、ボッチャ」
12/10	沼津市立第三小学校	講話「盲導犬利用者のお話」
1/20	飛龍高等学校	福祉体験「点字」
1/24	沼津市立門池中学校	講話「手話」
1/30	沼津市立門池中学校	講話「ボランティア活動について」
2/27	沼津市立片浜中学校	発表会「福祉に関連する探究学習」
3/8	沼津市青年教養講座受講者	講話「沼津市の災害と災害ボランティアセンターについて」
3/10	J A ふじ伊豆	講話「手話」
		福祉体験「車いす、高齢者疑似体験」



(福祉体験「手話」)



(福祉体験「車いす」)

(2) 小学生福祉体験講座

10月5日に「キッズケア～未来の自分を見つけにいこう～」と題し、福祉の職業に対する理解を深め、普段の生活の中で、困っている人に対し、自分は何ができるのかを考えるきっかけ作りを目的に福祉に関連する職業体験を実施しました。参加した小学校4年から6年の児童は、「管理栄養士」、「保育士」、「介護士」、「薬剤師」、「作業療法士」、「歯科医師」

[illegible]

11

6 広報啓発事業その他

地域福祉の中核組織として活動する沼津市社協に対する理解と協力を求めるとともに、市民の福祉意識高揚と地域活動の促進を図る目的で、種々の広報啓発活動に取り組みました。また、地域福祉の増進に向けた協定を締結し、各団体との連携の強化を図りました。

(1) 広報事業

沼津市社協の活動や種々の福祉情報を広く市民に広報するとともに、民間福祉活動に対する理解と福祉意識の高揚を図ることを目的に「社協だより」を4回発行し、沼津市全世帯に配布しました。また、市内の視覚障がい者を対象に「声の社協だより」を制作し、配布しました。このほか、市民の地域福祉活動への理解と参加を広めるために、広報啓発資料の作成、配布に努め、Instagram、Facebook、X（旧 Twitter）、公式 LINE などの SNS を活用し、広く市民へ情報提供を行いました。



(2) チャリティーバザーの開催

民間の地域福祉活動を推進し、市民に対する福祉意識高揚のための啓発事業として、沼津市赤十字奉仕団との共催で 10 月 19 日にサンウェルぬまづにてチャリティーバザーを開催しました。今年度は、チャリティーコンサートも同日開催し、寄付を募りました。バザー売上金とコンサートでの寄付金を合わせた 607,200 円は災害対策の準備金や地域福祉の推進に活用いたします。

また、ブックオフコーポレーション株式会社が行う、本・CD・DVDなどを回収し、その査定相当額が福祉活動に寄附される宅配買取寄附サービス「キモチと。」に取り組み、215,765 円のご協力をいただきました。こちらも災害対策準備金として活用します。

(3) 福祉施設地域福祉活動啓発事業

地域福祉推進のために福祉施設が持つ専門的機能・設備を地域社会への開放及び、福祉施設による地域福祉の啓発事業を促進することを目的とし、「沼津市福祉施設連絡協議会」を活動の中核として、6 月 11 日に福祉施設連絡協議会施設長会議及び福祉研修会、2 月 18 日に福祉施設職員研修交流会を開催しました。

（４）地域福祉活動計画推進事業

第５次地域福祉活動計画の進捗状況の報告と委員による協議を行う、地域福祉活動計画推進委員会を３月１８日に開催しました。推進委員等７名が参加し、ともにつながり、ともにささえあう、元気なまちづくりのための方向性の確認と、今後の展開について協議しました。

（５）沼津夏まつり狩野川灯ろう流し参画

沼津夏まつり実行委員会の灯ろう流し部会に参画し、夏の狩野川の風物詩として市民に親しまれている狩野川灯ろう流しを、狩野川左岸河川敷にて７月２６日に実施しました。

（６）無縁仏慰霊法要の開催

沼津市仏教会の協力により、市営墓地に眠る無縁仏諸精霊の追悼会を６月２１日に沼津市斎場にて開催し、関係者が列席する中、おごそかに法要が執り行われました。



（無縁仏慰霊法要）

（７）耳の日記念講演会の開催協力

沼津市福祉事務所、静岡県立沼津聴覚特別支援学校、沼津市聴覚障害者の会と協力し、２月１２日にサンウェルぬまづ多目的ホールにて「第６９回耳の日記念講演会」を開催しました。ケイアイスター不動産株式会社 ケイアイチャレンジドアスリートチーム所属の佐藤正樹氏を講師に迎え、「２０２５年デフリンピックへの挑戦」と題して講演いただき、７９名の来場がありました。



（耳の日記念講演会）

（８）地域福祉の増進に向けた連携協定の締結

第５次地域福祉活動計画の基本目標である「ともにつながり、ともにささえあう元気なまちづくり」の実現のために、相互の資源を活用し、地域における住民の健康と福祉の増進のために、また、災害時の迅速対応が出来るよう連携協定を締結しました。

令和６年度 連携協定等締結状況

	締結日	協定先
①	５／１６	沼津香陵ライオンズクラブ
	内容	災害ボランティアセンター支援に関する連携協定
②	２／７	株式会社ルネサンス
	内容	災害時における施設の一時使用等に関する協定 (沼津市との３者協定)



（沼津香陵ライオンズとの協定締結）



（㈱ルネサンス、沼津市、社協との３者協定締結）

第4 福祉総合相談事業

市民の様々な福祉・生活相談に応じるとともに、適切な生活援助や福祉サービスに結びつけるために、福祉に関する総合相談事業を実施しました。

また、福祉総合相談所運営委員会を設け、相談機関連絡会の開催、相談員研修やケースケア検討会等を実施し、相談体制の充実と相談所の効果的な運営に努めました。

令和6年度 ふれあい福祉相談センター窓口

相談名		開設日時	開設場所	相談内容
福祉総合相談所	福祉生活相談	土・日曜日・祝日・ 休館日を除く毎日 10時～12時 13時～15時 (電話最終受付 14時30分)	サンウェルぬまづ	生活上の心配ごとについての相談
	結婚相談	祝日・休館日を除く 第1・第4水曜日、 第2日曜日 10時～12時 13時～15時 結婚相談登録会(計3回) (女性専用相談室有り)	サンウェルぬまづ	登録制による結婚相手に関する相談
	健康・介護相談	祝日・休館日を除く 第1・第3水曜日 10時～12時	サンウェルぬまづ	本人及び家族の健康、持病との付き合い方や大病後の生活習慣、子どもの身体計など、健康や介護予防に関する相談

令和6年度 ふれあい福祉相談センター月別集計(件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉生活相談	4	5	7	5	2	6	2	3	2	7	1	1	45
結婚相談	39	26	20	13	23	23	8	16	13	7	15	41	244
健康・介護相談	9	6	8	5	18	10	8	17	8	4	13	14	120
窓口貸付償還相談	196	234	192	224	214	197	481	258	281	358	352	264	3,251
合計	248	271	227	247	257	236	499	294	304	376	381	320	3,660

令和6年度 ふれあい福祉相談センター処理状況（件数）

相 談 内 容	処 理 状 況					
	解決	継続	他機関 引継	他機関 紹介	その他	計
1 生 計	240	1, 985	715	288	29	3, 257
2 年 金	0	0	0	0	0	0
3 職 業 ・ 生 業	0	1	2	0	0	3
4 住 宅	0	0	1	0	0	1
5 家 族	3	7	1	0	0	11
6 結 婚	0	217	0	0	27	244
7 離 婚	0	0	0	0	0	0
8 健 康 ・ 衛 生	0	10	0	0	110	120
9 医 療	0	1	1	0	0	2
10 精 神 保 健	0	2	1	2	0	5
11 人 権 ・ 法 律	0	0	0	2	0	2
12 財 産	0	0	1	0	0	1
13 事 故	0	0	0	0	0	0
14 児童福祉・母子保健	0	0	0	0	0	0
15 教 育 ・ 青 少 年	0	0	1	0	0	1
16 心身障がい者(児)福祉	0	1	0	1	0	2
17 母子福祉・父子福祉	0	0	1	0	0	1
18 高 齢 者 福 祉	0	2	1	1	0	4
19 苦 情	0	0	0	1	0	1
20 そ の 他	1	1	1	2	0	5
合 計	244	2, 227	726	297	166	3, 660

第5 福祉資金貸付事業

※＜ ＞内は令和6年度の実績です。

1 高額療養費支払資金貸付

高額療養費の支払に困窮する国民健康保険の被保険者に対し、その経済的自立を助長し、その世帯の生活の安定を図ることを目的に、無利子での資金貸付を行い、低所得者の福祉向上に努めました。

＜12件／684,468円＞

2 生活福祉資金貸付

生活福祉資金貸付制度は、低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。

また、特例貸付として、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、減収となった世帯への貸付償還相談を実施しました。

令和6年度 生活福祉資金償還状況

区 分		件 数	金 額
緊 急 小 口 資 金	コ ロ ナ 特 例 初 回 (償 還 免 除)	62 件	8,273,830 円
総 合 支 援 資 金	コ ロ ナ 特 例 初 回 (償 還 免 除)	40 件	17,860,500 円
	コ ロ ナ 特 例 延 長 (償 還 免 除)	16 件	7,110,250 円
	コ ロ ナ 特 例 再 貸 付 (償 還 免 除)	119 件	60,261,250 円
コ ロ ナ 特 例 償 還 免 除 フ ォ ロ ー ア ッ プ 合 計		237 件	93,505,830 円

令和6年度 生活福祉資金貸付状況

区 分		件 数	金 額
緊 急 小 口 資 金	本 則	1 件	46,000 円
総 合 支 援 資 金	本 則	0 件	0 円
教 育 支 援 資 金	教 育 支 援 費	1 件	35,000 円
	就 学 支 度 費	1 件	236,000 円
合 計		3 件	317,000 円

3 臨時特例つなぎ資金貸付

離職者を支援するための公的給付制度または公的貸付制度を申請している住居の無い離職者に対して、交付を受けるまでの当面の生活費を貸付けることにより、その自立を支援することを目的とした制度です。

＜0件／0円＞

第6 権利擁護事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等が住み慣れた地域で暮らし続けるためには、権利や利益が守られ、安心して生活できる環境が必要です。そのためには、地域住民の権利擁護意識の高揚や日常生活自立支援事業などの福祉サービスの実施、市民後見人の育成を含めた成年後見制度の推進が必要です。これら各事業の充実と推進を行いました。

1 日常生活自立支援事業（静岡県社会福祉協議会委託事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力に不安があるため、福祉サービスの利用の仕方が分からない人、預貯金の出し入れに困っている人等を対象に、福祉サービスの利用手続き、公共料金の支払い手続き、金銭管理の援助、書類管理等を支援することを目的に、日常生活自立支援事業を進め、専門員による相談から契約締結に至るまでの手続きや、支援員による支援活動を提供しました。

2 成年後見事業（沼津市委託事業）

（1）沼津市成年後見支援センターの運営

「沼津市成年後見支援センター」において、沼津市民に対する成年後見制度の促進を図るため、広報、相談の窓口として運営しました。今後も周知活動を通じて適切な制度利用を推進していきます。

12 月には、沼津市内の介護・障がい分野の現場職員、入院病床のある医療関係者に向けた講演会を開催し、15 名が参加しました。また、参加方法も会場参加とオンライン参加のハイブリッド型としました。

成年後見制度の促進において、様々な関係機関との連携が必須となることから、ネットワーク形成のため、成年後見制度推進協議会を開催し、事業の運営方針、事業の報告について意見を出し合いました。

（2）市民後見推進事業

成年後見制度において、現在、親族以外の第三者が後見人となるケースは全体の 8 割まで上昇しています。一方、第三者後見人を担う専門職の受け皿不足が制度推進上の喫緊の課題となっており、新たな担い手として市民後見人に大きな期待が寄せられています。

沼津市社協では、裾野市、長泉町、清水町の行政及び社協と協力し、2 市 2 町成年後見事業推進委員会を設置し、推進委員会を広域分として 4 回、沼津市分として 3 回開催しました。

また、沼津市市民後見人支援センターとして、弁護士の方を講師としてお招きし、講義と意思決定支援に関する動画視聴の 2 部構成でフォローアップ研修を実施するなど、市民後見人候補者への支援に努めました。

市民後見人の活動も評価される中、沼津市では延べ 11 人の市民後見人が選任されています。

市民後見人 選任実績

年度	R6 年度	R5 年度	R4 年度	R3 年度	R2 年度	R1 年度
新 規 選 任 人 数	0 人	0 人	1 人	2 人	2 人	1 人
受 任 件 数	0 件	0 件	2 件※	3 件※	2 件	1 件

※同一の市民後見人が複数件を受任

3 法人後見の受任

第三者後見の担い手として市民後見人が推進される一方、法人による後見にもその役割が期待されており、特に社会福祉協議会には、日常生活自立支援事業で培った実績や住民との信頼関係を活かし、その役割を果たすことが期待されています。

沼津市社協においても法人後見を受任し、沼津市民の権利擁護を行いました。

第7 ボランティアセンター事業

ボランティア活動の基盤強化を重点に、ボランティア（個人・グループ）の育成援助並びに地域のニーズの把握に努めるとともに、機関紙等の発行啓発宣伝活動を進め、各種講座・行事の開催により市民のボランティア意識の高揚とボランティア活動への参加を促進しました。

1 ボランティアに関する相談援助活動

ボランティアコーディネーターを配置してボランティア活動に関する市民の様々な相談に応じるとともに、登録ボランティアの育成、支援並びにボランティア活動の活性化とニーズの把握、調整に努めました。公式LINEを活用しての情報発信も行いました。

また、ボランティア活動の経験豊富なボランティア連絡協議会役員によるボランティア相談を毎月第1・第3金曜日に開催しました。

令和6年度 ボランティア相談月別集計

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1	16	13	6	4	9	7	15	7	6	12	7	103

令和6年度 ボランティア登録状況

個人	団体	
214 人	82 団体	2,425 人

2 ボランティア育成研修

ボランティアの育成、研修を目的に、各種ボランティア講座、ボランティア学習プログラムを実施し、ボランティア活動の活性化に努めました。

（1）中高生ふれあい交流事業

8月5日に地域の中高生が、知的障がいのある子どもたちとの交流をとおして福祉課題について考え、ノーマライゼーションの視点を養う機会を設け、青少年ボランティアを養成することを目的に、中高生ふれあい交流事業を実施しました。参加した13人の中高生は、非営利活動法人こころのまの講師による障がいについての事前学習のあと、障がいのある子どもたちとのレクリエーションや創作活動を交えた交流を行い、相互理解を深めました。また、交流の様子を取りまとめた「福祉のこころはぐくみ新聞」を発行し、市内の中学校、高校に配布しました。



(創作活動)



(市内中・高校へ配布した「福祉のこころはぐくみ新聞」)

(2) サマーショートボランティア活動計画

8月に学校の夏休み等を利用して、県内各地の福祉施設でボランティア活動を体験するサマーショートボランティアを、県ボランティア協会との共催により実施しました。

(3) ちょいてつサービス養成講座

地域における福祉課題を学ぶと同時に、その福祉課題の解決のために活動する生活支援サービスの担い手である“ちょいてつさん”を養成する事を目的に、4月9日に東都大学沼津キャンパスの学生72名を対象に、また10月5日には県営今沢団地にて地域住民20名が参加し、生活支援ボランティアの活動者を養成しました。また、既に“ちょいてつさん”として登録されている方を対象に、活動の理解を深めると同時に、活動に役立つ多様な実技や知識を学ぶための「フォローアップ講座」を9月27日に開催し、19人が受講しました。

(4) やさしい精神保健福祉ボランティア養成講座

市民の精神保健福祉に対する意識の向上を図り、共に生きる福祉のまちづくりの実現を目的に9月28日に実施し、24人が受講しました。専門家の講義と当事者の話を通じて、精神障がいや精神保健福祉についての理解を深めました。



（５）こども学習支援ボランティア講座

子育てを支えるボランティア活動の育成と組織化を図り、子どもの居場所運営者の実践報告から、地域で行われている子育て支援の現状や必要性を学び、活動につなげることを目的に、令和6年6月8日にサンウェルぬまづにて開催しました。市民45名が参加し、こどもの居場所の立ち上げや、居場所のボランティア活動につながりました。



（６）傾聴ボランティア講座

地域で孤立している高齢者、子育て中のお母さんなど、様々な問題を抱えている人たちの孤独の解消と地域福祉の推進を図るため、傾聴に必要な知識、相談技術の講習を行い、傾聴ボランティアとしての質の向上を図ることを目的として1月23日に開催し、42人が受講しました。



（７）孤独・孤立をなくすために住民ができることを考える講座

誰もが安心して暮らすことができ、“ひとりぼっちにならない沼津”を市民とともにつくることを目標とし、思いやりやおせっかいで表わされるような地域のボランティアの養成を目的に、令和7年2月15日にサンウェルぬまづで開催し、40名が受講しました。

先進的な鳥取市の具体的な取り組みを聞くことで、自分たちの地域では何が求められているのかを身近に考えるきっかけづくりとなりました。



（８）企業ボランティア養成講座

地域の困りごとに企業が社会貢献として関わられるように「企業の社会貢献セミナー」を2月22日に開催し、32名が参加しました。実際に活動している地域の団体と、企業の実践発表を行いました。市内で活動する子どもの居場所団体からは活動する上での困りごとや今後やりたいことがあげられ、参加者は、企業や一個人としてできることを真剣に考える機会となりました。

（９）沼津市災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害時において効果的なボランティア活動を行うにあたり、ボランティアの受け付けや仕事の配分などの調整拠点となるボランティアセンターにおいて、中心的な役割を担うコーディネーターを養成する養成講座を５月１８日、１９日の２日間の日程で開催し、２８人が受講しました。また過去の講座修了生に向けた学習機会と情報提供を目的とするフォローアップ研修会を１２月２２日に開催し、３８人が受講しました。



（１０）技術系災害ボランティア（プロボノ）について知る講座

災害発生時に通常のボランティアでは対応が難しい、床板剥がしなどを行える特殊な知識・技能を持つ技術系ボランティアの活動内容について周知することを目的に３月２２日に開催し、１７人が受講しました。「しぞ〜か・まめっ隊」を講師に迎え、座学と体験学習を実施し、参加者からは、技術系ボランティア活動について知ることができた、実際に活動に参加してみたいとの感想がありました。



（技術の体験学習）

3 ボランティア交流・研修事業

東日本大震災被災地支援の一環として、沼津市ボランティア連絡協議会が10月19日のチャリティーバザー内で「東北震災支援物産展」を開催しました。2月には、静岡市で開催された静岡県ボランティア協会によるボランティア研究集会に参加し、講演や分科会など情報の交換をとおして、ボランティア同士のネットワーク作りの機会となりました。



4 ボランティアグループ等への活動助成事業

ボランティア活動中の不慮の事故に備え、安心してボランティア活動ができるよう、当ボランティアセンターの登録者に対し、ボランティア保険加入料の助成を行いました。

また、地域で種々のボランティア活動を継続的に展開しているボランティアグループへ、活動費の助成をしました。

令和6年度 ボランティアグループ助成実績

種 別	対 象	助成金額
ボランティア保険加入助成	495 人	99,000 円
ボランティアグループ活動助成	19 グループ	896,000 円

5 災害ボランティア活動

令和6年6月18日に沼津市内は記録的な大雨に見舞われ、主に、大平・静浦地区を中心に床上・床下浸水等、多数の被害が発生しました。沼津市社協では、被災された方の支援を行うため、6月19日に、災害ボランティアセンターを設置、沼津市、沼津市災害ボランティアコーディネーター協会、沼津青年会議所、アスルクラロ沼津、そして技術系災害ボランティア団体のしぞ〜か・まめっ隊など多数の団体と協働し、被災者支援を行いました。ボランティアは、水没家財の運び出しや、室内清掃のお手伝い、床下水出し・乾燥等、様々な活動を行いました。9月14日には災害ボランティアセンターで受付していたすべてのニーズを完了し、災害ボランティアセンターを閉鎖しました。

災害ボランティアセンターの運営には「赤い羽根共同募金災害ボランティアセンター等支援資金」を活用しました。日ごろ、皆様にご協力いただいている赤い羽根共同募金が、多くの被災者支援につながりました。

沼津市災害ボランティアセンター対応状況

対 応 ニ ー ズ 件 数	78 件（世帯重複あり）
ボランティア活動者数	697 人（延べ人数）

◇沼津市ボランティアセンター登録のボランティア団体・グループ活動一覧

令和7年3月31日現在（休止中の団体除く） 順不同

No.	グループ名	活動内容
1	沼津市ボランティア連絡協議会	サンウェルぬまづでのボランティア相談（毎月第1・3金曜日）ほか
2	点訳グループ かたつむり	視覚障がい者のニーズに対応した点訳活動。点訳者養成講座の開催*
3	ひまわり	視覚障がい者のニーズに対応した支援活動。主に点訳*
4	拡大図書グループ ささぶね	視覚障がい者のニーズに対応した拡大図書制作活動。講習会の開催*
5	拡大図書グループ あい	視覚障がい者のニーズに対応した拡大図書制作活動。講習会の開催*
6	沼津木星会	視覚障がい者に関するボランティア活動（点字・拡大・録音）推進*印の連絡会組織
7	アイ・ボランティア すばるの会	視覚障がい者に関するボランティア活動（点字・拡大・録音）の推進
8	録音グループ オカリナ	視覚障がい者向けの録音図書を作成する*
9	阿頼耶識	視覚障がい者を対象とした朗読ラジオ番組の制作
10	東部手話サークル連絡会	東部地域の各手話サークルの交流・情報交換活動
11	NPO 法人 マム	障がい児（者）生活支援、障がい児療育支援、イベント企画
12	ひまわり GO! 実行委員会	障がいのある人たちの、列車の旅の手伝いと交流
13	ほのぼの会	精神障がい者との交流。精神保健福祉の啓発活動
14	ヒューマン・リレーション・クラブ	アドラー心理学をいかして地域の人たちの人間関係作りを支援する「勇気づけの会」を開催
15	ほっとカフェ文化村	音楽を通じて誰もが楽しめるサロン活動、住まいや暮らしの相談会
16	くるらの家	戸田地域の住民の交流の場。社会参加と介護予防に取り組む
17	傾聴ボランティア うさぎ	福祉施設や病院、個人宅に向いての傾聴ボランティア活動
18	NTT ロータスイーターの会	ロータスクーポン・古切手・ベルマークの収集、整理
19	沼津おもちゃ病院	子どものおもちゃの修理と簡易な手作りおもちゃ作成
20	古城流会	福祉施設・老人会等における講談活動
21	沼津奇術研究会	マジックショー、マジック教材使用によるレクチャー
22	静岡県けん玉連盟沼津けん玉クラブ	青少年健全育成を目的にしたけん玉の指導、普及活動
23	日本棋院沼津支部	各福祉施設及び学校での囲碁指導
24	沼津健康麻将協会	高齢者を対象とした健康麻雀。各地区老人会、施設等への出前講習
25	夢ある人づくり塾DSプエルト	中高年のセカンドライフを支援する交流拠点づくり
26	ぬまづ観光ボランティアガイド	沼津の観光振興とぬまづの宝100選を中心としたガイド
27	山城を楽しむ会	城のガイド、その他ツアー
28	興国寺城を語る会	ボランティアガイド、研修
29	高尾山古墳を守る会	高尾山古墳の保全活動の協力。高尾山古墳についての啓発活動
30	みやこ会	老人ホームや地域の老人会等への演芸サービス（踊り）
31	（舞踏 三喜流）万里花会	高齢者施設への慰問（舞踊）、障がい児（者）施設へ盆踊りの指導や行事に参加（踊り）
32	Nā Lima Ke Aloha	ハワイアンミュージック、フラダンスを通じたボランティア活動
33	フィットネスプラ Agua（アクア）	エクササイズ様式による健康増進活動、ボランティア活動への参加
34	レイナニフラスタジオ	敬老会・老人ホーム等での慰問活動、アロハライブ・チャリティーイベントの参加
35	沼津からALOHAを届けよう！	チャリティーイベントの主催、ビーチクリーンなどの清掃活動
36	レインボーハート東部	車椅子ダンスや民謡を踊り、ともに楽しむレクリエーションを行う
37	衣の会	福祉施設への訪問、行事への参加協力、舞踊
38	戸田漁師踊 漁師唄保存会	県指定無形民俗文化財の伝承、公開、訪問活動
39	沼津中央高等学校吹奏楽部	吹奏楽によるコンサート、地域イベントを中心とした演奏活動
40	沼津ハーモニカクラブ	ハーモニカの演奏、老人施設、病院での訪問コンサート
41	千本ハーモニカクラブ	ハーモニカの演奏、施設入所者や障がい者を招待したコンサート
42	ミラクル☆フルーツ	福祉施設・病院等でのコンサート（フルート三重奏）
43	ライオンズ	病院や施設での演奏活動
44	K&Y	ギター、キーボードによる音楽演奏
45	沼津吹奏楽団	吹奏楽によるコンサート、地域イベントを中心とした演奏活動
46	NPO 法人 ぴくにつく	老人福祉施設への訪問、音楽活動
47	母力. P j	読み聞かせ、舞台公演事業
48	パステル和（NAGOMI）アート	簡単に描けて心が穏やかになり、気持ちが元気に健康になるアートワーク

No.	グループ名	活動内容
49	加藤マンドリン楽団	マンドリンの演奏、老人施設、病院での訪問コンサート
50	沼津太極拳楽友会	太極拳の指導普及活動で住民の皆様の健康増進を図る
51	ほっこりら	医療的ケア児のママたちの仲間づくり及び情報交換できるネットワークづくり（ピアサポート）
52	子遊会	地域の子ども達に遊び場を提供、地域の子ども達と料理し会食
53	大平見守り隊「KIZUNA」	高齢者の見守り。プレゼント作り
54	沼津中央高等学校	福祉施設への訪問、行事への参加協力
55	飛龍高等学校 ボランティア同好会	福祉施設への訪問、行事への参加協力
56	沼津東高校	ボランティアの告知・推進
57	沼津を世界一綺麗にする会	沼津市内のボランティア清掃
58	ビューティフルアース	千本浜より西側のビーチクリーン活動
59	未来の希望クラブ	ペットボトル・空き缶回収、新聞回収
60	大和ハウス工業株式会社沼津支店	清掃活動など
61	NPO 法人環境整備 森と竹で健康クラブ	沼津市、富士市、裾野市、長泉町などの森林・里山の整備
62	沼津地球温暖化研究会	学校や施設等で地球温暖化について解説、議論し理解を深める
63	戸田 花の会	園芸ボランティア活動
64	NPO 法人 戸田塩の会	戸田地域活性化事業、海、海岸の環境保全活動
65	戸田せっけんの会 ラ・メール	地域の環境保全を目的とした廃油リサイクルによるセッケン作り
66	ふじのくに多文化共生ネット	多文化共生の地域づくり
67	ベトナム枯葉剤被害者支援の会・はればれ支援隊	ベトナム枯葉剤被害者への支援活動、課外学習、セミナーの実施
68	NPO 法人ライフワークサポート 21	引きこもりやニート等の若者に就労機会を提供。相談支援、模擬就業体験の場等を提供
69	NPO 法人臨床心理オフィス Be サポート	地域社会への心のサポート全般
70	沼津市災害ボランティアコーディネーター協会	災害V本部運営訓練、災害時の募金活動ほか
71	NPO 法人日本沼津災害救援ボランティアの会	救急法等の講習会、講演会の開催や災害発生時の救援活動
72	災害時救援グループ	災害における救援活動
73	日本救難バイク協会静岡県支部	災害における人、医薬等の搬送および人命救助
74	ボランティアグループ レインボー	老人保健施設での奉仕活動
75	沼津市在宅介護家族の会 ハッピー	介護研究等の参加
76	りんどう	各種ボランティア活動に協力
77	NPO 法人しずおかセラピードッグサポートクラブ	セラピードッグの普及に向けたPR活動
78	動物ノート	動物愛護貢献ボランティア
79	学校法人誠恵学院 誠恵高等学校	福祉施設への訪問、行事への参加協力
80	自分史づくりの会	施設入所の高齢者等の自分史づくりのお手伝い
81	就労継続支援B型事業所ふらのあ	障がい者の就労支援
82	地域環境保全 Water Origin of Light	公道のゴミ拾い、近隣地域公園の緑化

沼津市ボランティア連絡協議会

市内の各地域で活躍するボランティアグループ及び個人ボランティアによる自主的な連絡組織です。ボランティアの横のつながりを広げていくことを目的に、交流会、研修会を開催しています。

問い合わせ先 沼津市ボランティアセンター

沼津市日の出町 1-15 サンウェルぬまづ内 ☎055-922-1500 Fax055-922-1502

第8 共同募金運動推進事業

◇赤い羽根共同募金運動

(1) 募金運動

共同募金は、赤い羽根をシンボルとして、10月1日から12月末日までを運動期間とし、地域住民がお互いの幸せを求める自主的な運動として活動をしてきました。

令和6年度も、赤十字奉仕団、自治会、民生委員・児童委員、小・中・高校生によるボランティア等の強力な支援により全市民運動として展開され、次のとおりの成績を収めることができました。

令和6年度 赤い羽根共同募金の状況

区分	募金実績額	△後の募金額	合計	内容
1 戸別募金 (うち沼津受け)	9,466,581 円 (2,930,520 円)	244,600 円 (197,600 円)	9,711,181 円 (3,128,120 円)	市内各世帯
2 法人募金 (うち沼津受け)	1,954,800 円 (1,706,800 円)	0 円	1,954,800 円 (1,706,800 円)	会社、事務所等
3 学校募金 (うち沼津受け)	462,802 円 (66,962 円)	27,949 円 (13,541 円)	490,751 円 (80,503 円)	学校、幼稚園 保育園 (所)
4 街頭募金 (うち沼津受け)	300,831 円 (300,831 円)	0 円	300,831 円 (300,831 円)	街頭募金
5 カード募金 (うち沼津受け)	201,216 円 (201,216 円)	4,608 円 (4,608 円)	205,824 円 (205,824 円)	図書カード クオカード
6 その他の募金 (うち沼津受け)	212,662 円 (66,302 円)	0 円	212,662 円 (66,302 円)	個人・団体、 設置募金箱ほか
合 計 (うち沼津受け)	12,598,892 円 (5,272,631 円)	277,157 円 (215,749 円)	12,876,049 円 (5,488,380 円)	

県共同募金会の目標額 16,051,000 円に対し、達成率 80.2%

(2) 共同募金助成状況 (前年度の募金実績による助成)

令和6年度 県共同募金会からの沼津市社会福祉協議会活動への助成金

事業区分	金額	助成目的	内容
老人福祉活動	572,240 円	団体支援	高齢者に対する居場所づくりの運営、民生委員活動、老人クラブの諸行事について支援
障がい児・者 福祉活動	81,000 円	団体支援	障がい児・者に関する当事者団体等の諸行事について支援
児童・青少年 福祉活動	1,258,488 円	育成活動支援 子どもの居場所運営事業	児童・青少年に対する居場所づくりの運営、その他団体の諸行事について支援

事業区分	金額	助成目的	内容
福祉育成・援助活動	1, 171, 700 円	ボランティアグループ活動助成 学生ボランティア育成 災害技術ボランティア育成	福祉体験、ボランティア等の育成、ボランティア団体の活動について支援
地区社協育成事業	2, 950, 000 円	地区社協支援	地区社会福祉協議会の活動について支援
広報啓発活動	20, 000 円	「声の社協だより」発行	目の不自由な方へ、広報誌を音声で届けることへの支援
食糧支援事業	202, 700 円	ひとり親、困窮者等支援	ひとり親家庭や生活に困窮する家庭へフードボックスを配布する活動について支援
緊急援護費	193, 000 円	ライフライン復旧支援	生活にお困りの方のライフラインの復旧に掛かる一時的な費用として
災害援護費	85, 000 円	災害援護	災害による見舞金として
災害ボランティア支援事業	1, 000, 000 円	災害ボランティアセンター運営	令和6年6月の大雨災害による災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営費用として
合 計	7, 534, 128 円		

◇歳末たすけあい運動

(1) 募金運動

共同募金運動の一環として、12月1日から同末日までを運動期間とし、民生委員・児童委員、赤十字奉仕団、自治会等が主体となり実施されました。各方面から格別なる協力を得て多額の援護金が寄せられ、次のとおりの成績を収めることができました。

令和6年度 歳末たすけあい募金の状況

区分	募金実績額	〆後の募金額	合計	内容
1 戸別募金 (うち沼津受け)	5, 865, 196 円 (1, 375, 199 円)	39, 800 円 (39, 800 円)	5, 904, 996 円 (1, 414, 999 円)	市内各世帯
2 法人募金 (うち沼津受け)	340, 029 円 (52, 029 円)	0 円	340, 029 円 (52, 029 円)	会社、事務所等
3 学校募金 (うち沼津受け)	219, 851 円 (15, 339 円)	0 円	219, 851 円 (15, 339 円)	学校、幼稚園 保育園(所)
4 その他の募金 (うち沼津受け)	643, 546 円 (643, 173 円)	0 円	643, 546 円 (643, 173 円)	個人・団体ほか
合 計 (うち沼津受け)	7, 068, 622 円 (2, 085, 740 円)	39, 800 円 (39, 800 円)	7, 108, 422 円 (2, 125, 540 円)	

県共同募金会の目標額 6, 606, 000 円に対し、達成率 107. 6%

(2) 令和6年度 歳末たすけあい募金助成等の状況

助成金贈呈事業費		件数	助成金額
住民全般	援護世帯	59	693,000 円
	被災世帯	0	0 円
	緊急援護世帯	16	160,000 円
合 計		75	853,000 円

地域福祉・在宅サービス事業費		件数	助成金額
高齢者	地区社会福祉協議会	13	1,594,376 円
	高齢者施設	1	50,000 円
	ボランティア団体	1	50,000 円
	居場所団体	16	746,876 円
	小 計	31	2,441,252 円
障がい児・障がい者	障がい者施設	8	380,000 円
	支援学校等	1	25,000 円
	当事者団体	2	100,000 円
	ボランティア団体	1	50,000 円
	小 計	12	555,000 円
児童・青少年	地区社会福祉協議会	0	0 円
	ボランティア団体	2	100,000 円
	居場所団体	10	460,000 円
	小 計	12	560,000 円
課題を抱える人	民生委員児童委員協議会	1	150,000 円
	小 計	1	150,000 円
その他	助成諸経費		28,088 円
	小 計		28,088 円
合 計		56	3,734,340 円

令和6年度 歳末たすけあい募金助成額合計 131 件 4,587,340 円

第9 在宅福祉サービス事業

民間福祉団体としての機能を生かしつつ、これまで培ってきた在宅福祉サービスの基盤を強化し、介護保険制度等での各種介護サービス、公的福祉事業（委託事業）等を行政及び関係機関との連携のもとに推進しました。

1 介護保険事業

静岡県及び沼津市から事業者の指定を受け、下記事業を実施しました。実施にあたっては、介護保険法の理念に沿い、各指定基準を遵守しつつ、利用者及びその家族等の自立支援を基本とした良質なサービスの提供に努めました。

（１）訪問介護事業（事業所名「沼津市社会福祉協議会指定訪問介護事業所」）

要介護・要支援等高齢者が、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、食事、通院等の介護その他生活全般にわたる援助サービス（基準緩和訪問サービスを含む）と自費対応のサービスを提供しました。

また、介護職の人員不足を補うため「そうだ！もう一度介護やってみよう！講座」と題し、ヘルパー資格を有するブランクのある方等を対象に知識や技術の不安を解消し、介護職への復帰に向けての支援を行いました。令和6年度は3月8日に開催しました。

＜利用延べ人数 21,406人＞

（２）通所介護事業（事業所名「千本デイサービスセンター」）

要介護・要支援等高齢者へ、必要な日常生活の世話及び機能訓練を行うことにより、社会的孤立感の解消、心身機能の維持及び家族の身体的・精神的負担の軽減を図るため、千本デイサービスセンターにおいて通所介護事業を実施しました。また、令和4年度で認知症対応型サービスを統合しましたが、専門スタッフが高度な技術をもって対応し、これまでと変わらない認知症ケアを行っています。

＜利用延べ人数 6,999人＞

（３）居宅介護支援事業（事業所名「千本居宅介護支援事業所」）

要介護の認定を受けた方が、住み慣れたご自宅や地域で安心して生活できるよう、介護支援専門員（ケアマネジャー）が、ご利用者やご家族の意向に沿って、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、介護サービス事業所との調整や連携を通して、適正な居宅介護支援を行いました。

また、沼津市や他市区町村から、要介護認定訪問調査業務の委託を受け、介護支援専門員が訪問調査員として訪問調査を行う等、介護保険事業の円滑な運営にも協力しました。

さらに、事業所のサービス向上を目的に、令和7年3月12日には、他法人との事例検討会の開催、部署内での事例検討会や勉強会等を継続的に開催しました。

＜利用延べ人数 3,302人＞

2 公的福祉サービス事業（沼津市委託事業）

介護や支援を必要とする高齢者のみならず、広く市民を対象にした介護相談、介護予防、自立支援事業及び介護保険等の対象外となる高齢者、障がいのある人、要援護児童等を対象にした各種福祉事業を沼津市より受託し、公的在宅福祉サービスの整備・推進に努めました。

（1）地域包括支援センター（事業所名「千本地域包括支援センター」）

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと生活できるよう、地域の総合的な相談窓口として設置されており、第一地区・第二地区・西間門の一部・第四地区を担当しています。千本プラザ内にある「千本地域包括支援センター」と吉田町の「第四支所」において、712 件の相談を受け、適切な機関やサービスに繋ぐ等の対応をしました。

また、高齢者が自立して生活できるよう、要支援 1・2 の認定を受けた方、事業対象者と認定された方のケアプランを作成するほか、一般介護予防事業として介護予防教室を年間 75 回開催し、高齢者延べ 2,285 人、ボランティア 51 人が参加しました。

高齢者の権利を守るための周知啓発活動や成年後見制度、消費者被害、虐待への対応も行いました。さらに、地域ケア会議を開催し、地域課題について検討すると共に、暮らしやすい地域を守るためのネットワークづくりにも努めています。認知症に対する活動としては、認知症の理解を深める周知啓発を行う「チームオレンジ」を設置すると共に、認知症サポーター養成講座を 8 回開催し、小・中・高校生を含む 170 名のサポーターが誕生しました。また、認知症カフェも毎月開催しており、暮らしやすい地域を作るためのネットワークづくりにも努めました。



<利用延べ人数 5,058 人>

（令和 6 年 11 月 19 日

秋のノルディックウォーキングで三島大社へ）

3 障害者居宅介護事業（事業所名「沼津市社会福祉協議会指定居宅介護事業所」）

静岡県から居宅支援事業者の指定を得て、障害者居宅介護事業を実施しました。実施にあたっては、障害者総合支援法の理念に則り、各指定基準を遵守しつつ、利用者及びその家族等の自立支援を基本とした良質なサービス提供に努めました。

障がいにより、在宅での生活に援助が必要な人が居宅において日常生活を営むことができるよう、ホームヘルパーが訪問し、入浴、食事の介助及び必要な移動介助、家事援助のサービスを提供しました。

<利用延べ人数 4,268 人>

4 障害者相談支援事業（事業所名「沼津市社会福祉協議会障がい者相談支援事業所」）

沼津市から特定相談支援事業所及び障害児相談支援事業所の指定を受けた「沼津市社会福祉協議会障がい者相談支援事業所」において、障害者総合支援法の理念に沿い、各指定基準を遵守しつつ、利用者及びその家族等の自立支援を基本とした良質な計画相談支援サービスの提供に努めました。

＜利用延べ人数 143 人＞

5 地域介護予防活動支援事業

地域の実情に応じて、年齢や心身の状況によって分け隔てることなく、誰もが自由に参加できる「通いの場」を整備するとともに、高齢者がいつまでも生きがい・役割を持って生活することを目的とした介護予防に資する支援活動に関するボランティアを育成するため、介護予防ボランティア養成等を実施しました。

（１）生きがい創出事業（ぬまっつ）

高齢者やその家族、地域住民、専門職員等の誰もが自由に参加できる居場所（ぬまっつ）を運営し、歓談や交流、相談、見守り、手伝いなどを通じ、互いに支え合う仕組みづくりを行いました。

ア カフェの運営

コーヒーやお茶を提供し、会話や交流等を楽しみながら、それぞれに合った過ごし方ができる居場所です。地域住民の方やボランティア、専門職等、多くの方のご利用、ご協力をいただきました。

令和6年度 ふれあいプラザカフェ「ぬまっつ」利用状況

事業名	開催日数	利用者数	1日平均利用人数
ふれあいプラザカフェ「ぬまっつ」	154 日	3,965 人	25.7 人

イ 健康増進事業

健康増進や認知症予防に継続して取り組むため、沼津市社協作成のDVD体操などを放映し、多くの方にご参加いただきました。

ウ 趣味活動

竹細工作り、幸筆（さちふで）等の趣味活動を行いました。

（２）介護予防ボランティア養成等事業

シニア世代を対象に、自らの健康づくりや生きがいのため知識を学びながら、地域における介護予防の活動を支える人材を養成する各種講座を行いました。

ア セカンドライフセミナー

第二の人生で自分のためや他者のために具体的に行動を起こすための最初の一步を踏み出すきっかけづくりを目的とした講座を、令和６年度は１回、令和６年８月８日にサンウェルぬまづにて実施しました。

イ 生活支援介護予防サポーター（くらしつなげ隊）養成講座

地域でとじこもりがちな高齢者と、社会をつなげるお手伝いをするサポーターを養成し、広く介護予防のための社会参加を促進することを目的とした講座を年４回、フォローアップ講座を１回実施しました。

●運転ボランティア養成講座（移動支援の担い手を養成）

令和６年６月２９日（土） 参加者 ２２名

●居場所の担い手養成講座

令和６年９月７日（土） 参加者 ２９名

●地域の移動販売ボランティア養成講座

（買い物に困る地域でのローカルマーケットの担い手を養成）

令和６年１０月５日（土） 参加者 １０名

●コミュニティナース養成講座

（地域で健康的な視点をもった見守り活動を行う担い手を養成）

令和６年１２月１４日（土） 参加者 ２３名

●くらしつなげ隊フォローアップ講座「活動報告会」

（活動者同志の体験談、情報交換を実施）

令和７年３月１５日（土） 参加者 ９名



（運転ボランティア養成講座）



（活動報告会）

ウ ノルディックサポーター養成講座

地域単位でノルディックウォーキングを普及するサポーターを養成し、サポーター自身の健康維持や生きがいを目的とした講座を、令和６年度は３回、フォローアップ講座を１回実施しました。



第10 福祉サービス事業の受託運営

民間福祉団体としての機能を生かしつつ、施策の充実を図るために、各種サービス事業の受託運営を積極的に図りました。

1 サンウェルぬまづ（ぬまづ健康福祉プラザ）受託管理運営事業

市民誰もが健康で、ともに助け合いができるまちづくりを目指すための拠点となる「サンウェルぬまづ」の指定管理者として、①健康・福祉、②ボランティア活動、③障がい者活動交流、④地域福祉活動の各センター機能と、「情報」・「相談」の機能を発揮するための管理運営に努めました。

令和6年度 サンウェルぬまづ会議室等利用状況

月	利用者数	開館日数	月	利用者数	開館日数
4月	4,226人	29日	10月	4,383人	30日
5月	4,347人	30日	11月	4,295人	29日
6月	5,127人	29日	12月	3,851人	27日
7月	4,603人	30日	1月	3,535人	27日
8月	4,052人	30日	2月	4,265人	27日
9月	6,250人	29日	3月	4,719人	30日
年間利用者数		53,653人	年間開館日数		347日

※ 大会議室、中会議室、小会議室1・2、OAルーム、調理室、健康増進ルーム、可動間仕切り会議室、共用ミーティングブース、録音室1・2、多目的ホール

令和6年度 サンウェルぬまづ3階利用状況

月	利用者数	開館日数	月	利用者数	開館日数
4月	755人	29日	10月	1,613人	30日
5月	940人	30日	11月	1,121人	29日
6月	901人	29日	12月	825人	27日
7月	1,165人	30日	1月	754人	27日
8月	915人	30日	2月	900人	27日
9月	1,020人	29日	3月	1,110人	30日
年間利用者数		12,019人	年間開館日数		347日

※ 共用ミーティングコーナー、障がい者活動交流室、地域福祉活動室

令和6年度 ふれあい交流室利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大人数	798	853	834	907	1,154	974	1,005	850	747	803	901	1,067	10,893
子人数	973	942	918	1,046	1,339	1,121	1,127	1,014	899	918	1,048	1,168	12,513
合計	1,771	1,795	1,752	1,953	2,493	2,095	2,132	1,864	1,646	1,721	1,949	2,235	23,406

(内訳)

沼津市	1,425	1,491	1,448	1,613	1,815	1,718	1,771	1,478	1,265	1,354	1,489	1,527	18,394
三島市	57	73	39	53	83	68	56	57	36	63	96	78	759
長泉町	88	41	82	76	167	97	82	91	60	102	80	97	1,063
裾野市	23	23	25	15	2	27	13	28	23	17	33	24	253
清水町	66	56	49	43	79	68	69	38	71	50	55	84	728
富士市	2	9	2	6	13	11	6	13	12	9	9	27	119
御殿場市	10	3	2	4	2	11	5	11	19	7	28	4	106
その他	100	99	105	143	332	95	130	148	160	119	159	394	1,984

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ボランティア数	27	39	45	43	88	35	28	27	26	29	40	43	470
シニアコーナー	9	11	13	11	7	10	14	12	10	10	8	9	124

令和6年度 展示ギャラリー利用状況

展示名	開催日	展示名	開催日
夢ある人づくり塾～DSブエルト～ 水彩画作品発表	4/1～7	space for children かけはし 未来を描くみんなの絵・みんなの作品	9/1～30
令和5年度ふれあい交流室活動報告	4/13～5/21	情報ボランティアハロウィン展示	10/1～11/1
Mac カレッジ 作品展	5/22～26	こどものアトリエおえか木トッポ	11/2～10
情報ボランティア季節のポストカード展	6/4～7/1	こころのまま ミニアート展	11/16～12/18
沼津市退職教職員写真クラブ展	7/3～7/15	令和6年度 福祉のまちづくり絵画展	1/9～22
令和6年度市立沼津高校 16HR 文化祭展示	7/17～23	第4回「未来のクルマ」絵画コンクール 展示会	1/23～31
中高生ふれあい交流事業	8/4～16	運営ボランティア4部門交流干支の飾り	2/3～28
NPO 法人ウォータービジョン 水墨画作品展	8/20～31	版画ワークショップ	3/18～31

（１）相談事業

育児相談

赤ちゃんから高齢者までが集う「ふれあい交流室」において専門員（保育士）が相談にあたりました。（主な相談内容：成長、発達、離乳食・食事、就園、親の精神面 他）

令和 6 年度 育児相談件数

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	14	20	31	16	8	11	11	19	7	18	8	14	177

（２）イベント

情報センター事業

ア 福祉図書コーナー

障がい、地域福祉、育児、ボランティアに関する書籍を揃え、サンウェルぬまづ情報ボランティアの協力のもと、情報提供に努めました。

イ 福祉のまちづくり作品展

① 情報ボランティアが、年間を通じて来館者に季節感を味わっていただく事を目的に、作成した四季折々のポストカードを展示しました。

事業名	協力者	開催日
情報ボランティア 季節のポストカード展	サンウェルぬまづ情報ボランティア	6/4～30

② サンウェルぬまづ館内で活躍している運営ボランティアの活動を、Welcome サンウェルイベント内で発表することで、互いに交流・情報交換をできる場を設け、ボランティア活動の意義を学ぶ機会の場を提供しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数
運営ボランティア 4 部門 活動紹介展	サンウェルぬまづ運営ボランティア	11/23	282 人 (来場者含む)

ウ 福祉啓発事業

① 沼津市ボランティア連絡協議会 活動発表会

市内各地で活躍しているボランティアグループや個人ボランティアの普段の取り組みを紹介し、市民のボランティア活動への理解と参加意識を高めることを目的として、Welcome サンウェルイベント内でボランティア活動の展示を行い、発表の場を企画しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数
沼津市ボランティア連絡協議会 活動発表会	沼津市ボランティア連絡協議会	11/23	230 人 (観客＋発表者)

② 障がい者を理解するための活動

特別支援学校や支援学級に通う子どもたちの「できること」や「感性」を来館者に知っていただき、身近な存在として感じてもらうことを目的として開催しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
福祉ふれあい販売会（夏）	エンゼルらんど こころみファーム	8/3	57 人	購入者数
福祉ふれあい販売会（冬）	エンゼルらんど・すずらん こころみファーム	11/23	81 人	購入者数
こころのまま ミニアート展	NPO 法人こころのまま	11/16 ～12/18	—	

③ 安心、快適な暮らしの実現に関する事業

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
心肺蘇生講座	救命ワークステーション 応急手当指導員	11/2	10 人	
防災セミナー （防災ポーチについて知ろう）	沼津市災害ボランティア コーディネーター協会	11/23	17 人	

エ 情報の集積と提供

① 情報コーナーの設置

皆さまの声をサンウェルの事業に生かすためのコーナーやボランティア、地区社協等様々な団体の活動紹介のコーナーを設置し、市民相互間の情報交換の場を提供しました。

オ ボランティア活動支援事業

① 次世代ボランティア育成事業

これからの時代を担う次世代のボランティア体験、ボランティア活動の意義を学ぶ為の場の提供や、多世代にわたる人達が気軽に楽しく集い、互いに交流し情報交換のできる場を作ることを目的に、「次世代ボランティア育成事業」を Welcome サンウェルイベント内で開催しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
次世代ボランティア育成事業	市内に在住・通学中の中・高校生	8/3・11/23	28 人	延べ

② サンウェルぬまづ緑化ボランティア養成講座

サンウェル敷地内の花壇の植栽や野菜作り等の活動を合わせた緑化ボランティアの体験会をとおして、入会につなげる目的で講座を開催しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
緑化ボランティア体験会	サンウェルぬまづ緑化ボランティア	5/8	6 人	

③ サンウェルぬまづ運営ボランティア研修

令和6年度は、いつまでも健康で元気な身体を維持するために、プロの指導者から自宅で実践できる簡単なボディーケアのノウハウを学び、充実したボランティア活動の基盤を築くことを目的に開催しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
運営ボランティア全体研修	是永 幸恵 サンウェルぬまづ運営ボランティア	2/3	28 人	

④ サンウェルぬまづ運営ボランティア

サンウェルぬまづの運営のお手伝いをするボランティアを、活動内容によって、受付案内、緑化、情報展示、託児の4つのボランティアに分けています。利用者でもある市民がプラザ運営の一端を担う運営ボランティアとして活動することで、市民自らのアイディアや希望を常に取り入れながら、市民とともに成長する施設を目指しています。

令和6年度 サンウェルぬまづ運営ボランティア活動状況件数

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		計	
	活動 日数	人数	活動 日数	人数	活動 日数	人数	活動 日数	人数	活動 日数	人数	活動 日数	人数	活動 日数	人数	活動 日数	人数	活動 日数	人数	活動 日数	人数	活動 日数	人数	活動 日数	人数	活動 日数	人数
受付	1	9	2	11	3	14	4	20	3	14	5	19	5	21	8	33	6	25	4	20	5	32	5	22	51	240
情報	4	27	4	25	4	27	4	28	3	14	5	23	5	35	4	24	3	20	3	21	6	40	5	36	50	320
緑化	20	88	23	122	24	123	25	116	27	101	26	118	26	101	26	119	21	101	21	107	23	115	20	72	282	1,283
託児	5	26	5	25	9	67	6	37	5	27	7	32	7	51	9	37	6	38	2	18	5	36	3	21	69	415
計	30	150	34	183	40	231	39	201	38	156	43	192	43	208	47	213	36	184	30	166	39	223	33	151	452	2,258

カ 交流活動

子どもからお年寄りまでの居場所、交流の場づくりや、障がいのある子どもたちも一緒に交流することを目的に開催しました。

① Welcome サンウェル

事業名	開催日	参加人数	備考
みんなの手形でこいのぼりのうろこを完成させよう	4/20～5/6 展示：5/7～19	108 人	
七夕 ～願いを込めてみんなで飾ろう～	6/14～7/7	278 人	
サンウェルぬまづと千本プラザで HAPPY HALLOWEEN	10/23～31	234 人	子どものみ

② Welcome サンウェルイベント

日ごろからサンウェルぬまづの活動にご尽力いただいている運営ボランティア、沼津市ボランティア連絡協議会の方々や、市内の中学生・高校生のボランティアにもご協力いただき、表のとおり開催しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
おやこリトミック	峯松 由貴	8/3	40 人	
貝殻でフォトフレームを作ろう	中・高校生ボランティア	8/3	35 人	
ちょっぴり早いクリスマスを楽しもう	中・高校生ボランティア	11/23	34 人	
アロマサシェを作ろう	puamana 室野 里佳	11/24	8 人	
デコパンを作ろう	山本 佐江子	11/24	18 人	
ベビーマッサージ	新井 佳乃	11/24	12 人	
健康・介護相談	健康・介護相談員	11/24	10 人	

キ 健康づくり支援

① 介護予防・健康づくり支援

サンウェルぬまづにおいて、下記のイベントを開催しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
ひめトレエクササイズ (託児付き講座)	小島 由美、託児ボランティア、 静岡県退職女性教職員の会	7/1・22	49 人	延べ
心と体のトータルコーディネー ト講座	明治安田生命、市健康づくり課 職員、岡元 貴宏、是永 幸恵	11/1・8	68 人	延べ

② メンタルヘルス事業

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
心が整うお片付け講座	関 美恵子	12/7	37 人	

ク 生きがいづくり支援

大人のための居場所、交流の場をつくることを目的に開催しました。

事業名	協力者	開催日	参加人数	備考
男の居場所講座 『ホホワイトクリスマス』をクリスマス までに歌えるようになりませんか！	芹澤 卓弥、新井 瞭	11/25 12/9・23	63 人	延べ

ケ ふれあい交流室

ふれあい交流室において、妊娠期、親子、小学生、世代交流など様々な方を対象としたイベントを開催しました。

令和6年度 ふれあい交流室イベント

イベント内容	対象	開催日	参加人数	ボランティア
育児講座 「子どもの発達相談室①」	親子、 関心のある方	7/17	6 人	—
おまつり広場 「～トロピカルサマー～」	どなたでも	8/18	90 人	27 人
小学生イベント 「Bling Bang Bang Born で踊ろう」	小学生の親子	8/25	25 人	—
育児講座 「子どもの発達相談室②」	親子、 関心のある方	9/27	4 人	—
育児講座 「親子で楽しむムーブメント遊びと 子育てトークの集い」	未就園児親子	10/22	28 人	—
マタニティ講座 「プレパパママ&赤ちゃん DAY 講座」	妊婦とその家族 1歳未満の親子	11/9	25 人	—
ふれあいクリスマス	親子	12/14	75 人	4 人
育児講座 「子どもの発達相談室③」	親子、 関心のある方	1/22	9 人	—
育児講座 「パパと遊ぼう！親子で楽しむ音あそび」	父親と未就園児	2/1	31 人	—
ふれあいコンサート (静岡県立沼津東高等学校吹奏楽部)	どなたでも	3/15	138 人	10 人

定期イベント	開催日時	回数	備 考
アッスルタイム	水曜日 (月 2 回)	24 回	サッカー J 3 アスルクラロ沼津の選手による 体操や運動遊びをととした親子の交流
ふれあいタイム	第 2・第 4 火曜日	24 回	職員によるふれあい遊びや製作など
赤ちゃんDAY	—	5 回	1歳未満の親子を対象としたベビーマッサージ、 バランスボール、ベビーヨガなど
色イロリトミック	—	3 回	親子で音楽を総合的に味わう
Little Cocoons	—	3 回	英語を通して遊びながら異文化に触れる
ママにおすすめエクササイズ	—	4 回	親子で一緒に行うストレッチなど体のケア
水遊び (夏季限定)	8 月	5 回	屋内庭園での水遊び
絵本の読み聞かせ	—	45 回	ボランティア団体いろいろぼうしによる 絵本の読み聞かせ

2 千本プラザ管理運営事業

高齢者をはじめとする市民誰もが、世代の垣根を越えて集い、交流できる世代交流活動の拠点となる、高齢者等福祉世代交流活動施設「千本プラザ」の指定管理者として、季節に応じたイベントや、年間を通じた各種講座・教室等を企画実施し、市民に親しまれる「千本プラザ」の管理運営に努めました。（「千本プラザ」は沼津市世代交流センター及び沼津市老人福祉センターで構成されています。）

令和6年度 千本プラザ利用者状況

月	総入場者数	老人福祉センター	世代交流センター
4月	16,167人	523人	3,903人
5月	14,956人	596人	2,874人
6月	14,987人	574人	3,532人
7月	18,983人	605人	4,596人
8月	14,562人	612人	3,452人
9月	16,820人	621人	5,001人
10月	16,741人	526人	4,057人
11月	19,597人	634人	4,639人
12月	16,974人	545人	3,582人
1月	13,605人	557人	2,876人
2月	14,600人	593人	3,530人
3月	17,747人	576人	5,334人
合計	195,739人	6,962人	47,376人

(1) 主催事業 <季節のイベント>

ア 千本プラザフェスティバル

事業名	協力者（または団体）	開催日	参加者数
ふれあい動物園がやってくる！	カントリーファームスタッフ 20 人 高校生ボランティア 28 人	4/28	732 人
フローピラティス	野崎 菜津美	5/4・11	(延べ) 58 人
簡単エアロ&ヨガ	保谷 久美子	5/19・26	(延べ) 58 人
親子で木製のタングラムパズルを作ろう	根継商店（平成建設）小山 卓也	5/19	24 人
初夏のフラワーアレンジメント	Senbon Flowers MIDORIYA 岩崎 有加	6/4	19 人

イ 夏のイベント

事業名	協力者（または団体）	開催日	参加者数
親子陶芸教室	井原 正利	7/13	40 人
映画特別上映会「PLAN75」	—	7/24	198 人
ゆかいなコンサート	グリーンフィールド	8/4	191 人
こども体操教室（第一部）	山本 奈津美	8/10	32 人
こども体操教室（第二部）	フルヤ トモヒロ	8/10	18 人
多目的ホール開放	—	7/20 ～8/25	190 人

ウ 秋のイベント

事業名	協力者（または団体）	開催日	参加者数
はじめての健康太極拳	野田 康太	10/3・10	(延べ) 45 人
いすヨガストレッチ&健康講座	保科 恵、株式会社明治、 沼津市健康づくり課、8020 推進員	10/3・31 11/7	(延べ) 80 人
映画特別上映会「グレン・ミラー物語」	—	10/16	120 人
みんなで歌おう♪ なつかしの歌♪	潮騒ファミリー	10/29	70 人
ポーセラーツ体験教室	滝山 宏美	10/27	8 人

エ 冬のイベント

事業名	協力者（または団体）	開催日	参加者数
ジャズコンサート	富士通ジャズ・オールスターズ	12/1	192 人
ボディシェイプサーキット & バランスコーディネーション	田中 沙季	12/7	27 人
バランスボールで座るだけ筋トレ	三船 美也子	12/8	18 人
書初め教室	西川 万里	12/22・23	32 人
季節の植物を使ったデザイン	Senbon Flowers MIDORIYA 岩崎 有加	1/19	20 人

オ 春のイベント

事業名	協力者（または団体）	開催日	参加者数
コンディショニングストレッチ	眞野 知美	1/28	27 人
防災のこと知ろう DAY	沼津市役所危機管理課、 水道部職員	2/1	28 人
千本プラザより春の調べ	フルート&ピアノトリオ ミッフィーフルート弦楽アンサンブル	2/16	160 人
コア・ウォーキング教室	船川 雄央	2/20	13 人
タイルクラフト ワークショップ	作山 知佐	2/24	14 人

主催事業 <居場所づくり>

カ 赤ちゃんDAY

事業名	協力者（または団体）	開催日	参加者数
ベビーリトミック 聖隷沼津病院小児科による講話	峯松 由貴、村松 日登美 古澤 有花子（聖隷小児科医）	5/23	23 組 (46 人)
ベビー&ママヨガ 聖隷沼津病院小児科による講話	保科 恵 古澤 有花子（聖隷小児科医）	6/27	20 組 (40 人)
ハワイアンリトミック	二宮 晶子	7/25	22 組 (45 人)
リトミック&コンサート	フレンドミュージック 中村 友紀、柏木 恵美子	8/22	23 組 (50 人)
赤ちゃんご機嫌♪ 親子体操	三船 美也子	9/26	21 組 (43 人)
ベビーリトミック	峯松 由貴、村松 日登美	10/24	20 組 (44 人)
ベビー&ママヨガ 聖隷沼津病院小児科による講話	保 科恵 古澤 有花子（聖隷小児科医）	11/28	19 組 (38 人)
ハワイアンリトミック 聖隷沼津病院小児科による講話	二宮 晶子 古澤 有花子（聖隷小児科医）	12/26	21 組 (45 人)
リトミック&コンサート 聖隷沼津病院小児科による講話	フレンドミュージック 西島 彩、島影 加奈 古澤 有花子（聖隷小児科医）	1/23	20 組 (42 人)
バランスボールでママシェイプ	三船 美也子	2/27	22 組 (44 人)

キ 0歳からのコンサート

事業名	協力者	開催日	参加者数
0歳からのコンサート	わらしな音楽事務所	9/21	194 人

(2) 教室開催事業

ア 趣味の教室

教室・講座名	参加者数	回数	開催日
デジタカメラ	14 人	24 回	第 1・第 3 水曜日
ヨ ガ	19 人	24 回	第 1・第 3 木曜日
ち り め ん 細 工	10 人	24 回	第 1・第 3 木曜日
茶 道	8 人	21 回	第 1・第 3 木曜日
書 道	11 人	24 回	第 1・第 3 金曜日
紙 バ ン ド	15 人	23 回	第 2・第 4 月曜日
コンディショニング	19 人	23 回	第 1・第 3 金曜日
フラワーデザイン	11 人	23 回	第 2・第 4 火曜日
詩 吟	5 人	24 回	第 1・第 3 火曜日
元 気 ア ッ プ 教 室	20 人	24 回	第 1・第 3 水曜日
七 宝 焼	10 人	19 回	第 2・第 4 金曜日
ピ ア ノ (キーボード)	15 人	23 回	土曜日 (月 2 回不定期)
ウ ク レ レ	19 人	24 回	第 2・第 4 土曜日
合 計	176 人	300 回	

イ 「趣味の教室」展示会及び発表会

事業名	開催日	参加者数
作品展		
書道・七宝焼・ちりめん細工・紙バンド デジタルカメラ・フラワーデザイン	2/28～3/2	1,859 人
発表会		
うた (体験会)	2/28	44 人
ピアノ (キーボード)	3/1	66 人
ウクレレ	3/1	68 人
詩吟	3/2	32 人
お茶会 (茶道)	3/2	121 人
合 計		2,190 人

ウ 陶芸教室

教室・講座名	協力者	回数	開催日	参加者数
陶芸教室第Ⅰ期 「人気の焼き物」	井原 正利	3 回	6/15～6/29	29 人
陶芸教室第Ⅱ期 「千づら窯の個性派」	井原 正利	5 回	12/14～1/25	47 人

(3) 交流事業

ア セタ交流

協力者（または団体）	開催日	参加者数
きぼう青年学級と高校生ボランティア	6/16	33 人
霊山保育園とすこやか沼津下香貫支部	6/19	44 人
沼津聖マリア幼稚園とすこやか沼津我入道支部	6/21	53 人
光長寺幼稚園とすこやか沼津門池支部・開北支部	6/24	57 人
ルンビニ幼稚園とすこやか沼津役員一同	6/25	19 人
岳東保育園とすこやか沼津役員一同	6/26	34 人
双葉幼稚園とすこやか沼津第三中支部	6/27	14 人
恵愛保育園とすこやか沼津千本支部・大平支部	7/2	30 人
合 計		284 人

イ なつかしの遊び体験会・「明治はるあき」映画上映会

事業名	協力者	開催日	参加者数
なつかしの遊び体験会	沼津市老人クラブ連合会、ぬまつつ竹細工、沼津市政政策推進部広報課、学生ボランティア	10/20	50 人
映画上映会「明治はるあき」	博物館 明治村	10/20	40 人

(4) ミニギャラリー展示

どなたでも無料で利用できる展示スペースとして貸し出しました。

利用件数	内 容 (件)			
25 件	写真展	9	絵画展	2
日数	版画展	2	陶芸展	0
169 日	書道展	3	その他	9

展示名	主催者	開催日
春の光	一般社団法人ルミナス	4/2～13
四季の光彩「春季展」	カメラクラブ光陽会	4/14～21
銅版画展	個人	5/2～6
沼津藩五万石水野家と幕末の日本	個人	5/7～15
第 11 回写真展	お気楽写真会の仲間達	5/17～24
四季の光彩「新緑展」	カメラクラブ光陽会	7/14～21
四季の光彩「秋季展」	カメラクラブ光陽会	9/8～15
切り絵	切り絵趣味の会	9/18～22
松風会 書道展	松風会	9/25～29

展示名	主催者	開催日
千本書道会 書道展	千本書道会	10/2～6
千本木版画教室 展示会	千本木版画教室	10/9～15
第5回沼津きり絵の会	沼津きり絵の会	10/20～26
ステンドグラス OB 会作品展	ステンドグラスOB会	11/1～3
第34回沼津市役所燦燦OB会趣味の作品展	沼津市役所燦燦OB会	11/7～10
第7回「あじさいの会」切り絵作品展	あじさいの会	11/13～16
牛若丸の兄 今若丸 井出の大泉寺に眠る	個人	11/17～22
沼津の宝100選 写真パネル展	沼津市役所 広報課	12/3～9
第12回写真展	お気楽写真会の仲間達	12/13～20
勝呂道夫絵画展	個人	12/22～27
四季の光彩「冬季展」	カメラクラブ光陽会	1/19～26
大橋友美絵画展	個人	2/7～14
ル・フルーロン 40 周年 記念花展	ル・フルーロン	2/21～24
第二十回圭会書展	圭会	3/4～9
令和フォトクラブ写真展	令和フォトクラブ	3/10～13
切り絵 さくらの会	さくらの会 (切り絵)	3/14～16
さくらの会	華道同好会	3/20～22
四季の光彩「春季展」	カメラクラブ光陽会	3/23～30

(5) なつかしの映画上映会

高齢者がなつかしの映画を見ることにより、若かりし頃の当時の出来事を思い出し、懐かしむ機会となりました。また高齢者等の外出機会として、楽しいひと時を過ごしてもらうことができました。

上映映画名	「伊豆の踊子」・「精霊流し」・「南国土佐をあとにして」他 29 作品
上映回数	32 回
入場者数	908 人

第11 役員会等の開催状況

年月日	会議等	主な内容
令和6年5月30日	第259回理事会 (理事11人、監事2人)	令和5年度事業報告、計算関係書類・財産目録の認定、補正予算(第1回)、理事選任候補者の提案、評議員選任候補者の推薦、評議員選任・解任委員会の開催、評議員会の招集
6月6日	第15回評議員選任・解任委員会 (委員4人)	評議員の選任
6月20日	第260回理事会 (理事10人、監事2人)	本会への使用者責任等損害賠償
6月20日	第160回評議員会 (評議員9人、監事2人)	令和5年度事業報告、計算関係書類・財産目録の承認、補正予算(第1回)、理事の選任、本会への使用者責任等損害賠償
8月7日	第261回理事会 (理事9人、監事2人)	補正予算(第2回)、評議員会の招集
8月16日	第161回評議員会 (評議員9人)	補正予算(第2回)
11月20日	第262回理事会 (理事10人、監事2人)	補正予算(第3回)、歳末たすけあい募金助成計画、評議員会の招集
11月28日	第162回評議員会 (評議員7人)	補正予算(第3回)
令和7年3月18日	第263回理事会 (理事12人、監事1人)	補正予算(第4回)、規程の一部改正、令和7年度事業計画及び資金収支予算案の承認、令和7年度分渡辺福祉基金の取り崩し、役員賠償責任保険の契約、評議員会の招集
3月26日	第163回評議員会 (評議員10人)	補正予算(第4回)、役員報酬・費用弁償規程の一部改正、令和7年度事業計画及び資金収支予算案の承認

令和7年度事業計画

事業計画策定にあたって

少子高齢化、人口減少の進行などにより、地域社会や家庭の機能が脆弱化し、様々な福祉課題が生じています。その解決に向けては、住民の生活課題や潜在的ニーズを受け止め、地域社会のあらゆる構成員が担い手として支援や仕組みをつくる「連携・協働の場」が以前にも増して重要となっています。また、福祉分野の制度の狭間で、複合化した課題を抱える生活困窮者への支援など社会の変化や新たな課題にも対応していく必要があります。

このような中、地域住民が手を取り、みんなで助け合い支え合って、ともに元気に暮らしていける地域をつくる「地域共生社会」を実現することが本会の使命であります。

令和7年度は「第5次地域福祉活動計画」の総仕上げの年として、基本目標のもと、4つの重点活動を中心に事業展開を図ってまいります。

基本目標「ともにつながり、ともにささえあう、元気なまちづくり」

第1 重点活動

1 福祉人材発掘・育成・・・人と福祉をつなげる 「福祉教育の推進」

児童・生徒に対し、住民が福祉を知り、興味を持ち、身近に感じ、我が事としてとらえ活動につながるよう、福祉体験など学ぶ機会を提供するとともに、企業の社会貢献活動を促進するため関係機関と連携し、講座や福祉の情報発信、広報啓発を推進してまいります。また、各種ボランティア養成講座を実施し、ボランティアの発掘・育成を図るとともにボランティア活動を支援してまいります。

2 福祉の地域づくり・・・人と地域をつなげる 「住民主体の福祉のまちづくり」

住民が主体となり、自らが地域の課題を見つけ解決していくことのできる地域となるよう、地区ごとに生活支援コーディネーターを配置しています。生活支援コーディネーターは、地域のあらゆる関係機関・団体、企業・事業所等と連携をとり、社会資源を見つけ、地域の皆さんと共に住みやすい地域づくりを推進してまいります。

また、地域住民で構成し住民同士が助け合う場である地区社会福祉協議会等と連携し、小地域ネットワークづくり、見守りネットワークの組織化、地域版ちよいてつサービス（住民参加型在宅福祉サービス）の立上げ、普及を支援してまいります。

3 福祉サービスの強化・・・人とサービス・環境をつなげる 「住民が求める安心して暮らせるための新たなサービスの開発調査・研究・運営」

コロナ後の生活困窮など住民が抱える問題に対し、ともに寄り添い、解決に導く相談

援助活動を推進します。また、社会情勢の変化等により、住民が必要とされる新たなサービスへの調査研究を進め、企画から運営に推進していくよう努めてまいります。

すべての住民が自分らしく安心して暮らすことができるよう、これまでに培ってきた経験を活かし、**成年後見制度の利用を促進するための中核機関である「沼津市成年後見支援センター」の運営**を推進してまいります。

さらに、昨今の異常気象等により毎年各地で頻繁に発生している災害等に対して、関係機関等との連携を強化し、**災害時における被災住民への支援活動の整備**を推進してまいります。

4 社協の基盤強化と福祉活動推進体制の整備・・・頼りになる社協を目指して **「職員の資質向上と新規事業開拓への挑戦」**

住民に対し、社協がどのような事業を展開しているのか理解を進めるため、わかりやすい広報啓発に努めます。

事業の執行状況を定期的に確認し充実した活動を実施するとともに、**専門的な知識や経験を個々の職員が身に付け、より一層の資質向上**に努めます。そのため、人材育成基本方針に基づき、研修計画の充実と人事評価制度の導入による職場におけるコミュニケーションの円滑化を図ってまいります。

運営財源の確保は、現在の情勢を鑑みると大変厳しいものがありますが、使途目的を明確にした会費や寄付の募集方法の工夫を試み、住民の理解を得て、確保に努めます。

介護保険制度、指定管理者制度等については、諸制度に的確に対応し利用者に寄り添ったサービスを展開していくとともに、障がい児者の居宅介護事業においては、相談支援事業所の運営を実施してまいります。

また、生活困窮者の自立に向けた支援にも取り組んでまいります。

なお、令和7年度は組織体制を見直し、これら重点活動を着実に推進してまいります。

本会といたしましては、4つの基本計画の達成に向け、「地域共生社会」の実現を目指し、あらゆる事業を通じて関係機関・団体との協働体制をより強固なものとし、「ともにつながり、ともにささえあう、元気なまちづくり」を進めてまいります。

第2 一般事業計画

◇地域福祉活動の推進

- (1) 地区社協連絡協議会への支援と連携強化
- (2) 生活支援体制整備事業の推進
- (3) 児童・生徒・企業等に対する福祉教育
- (4) 広報PR活動の強化

- (5) 小地域ネットワーク活動の推進
- (6) 当事者の組織化と自立支援
- (7) 福祉施設連絡協議会への支援と連携強化
- (8) チャリティーバザーの開催
- (9) 災害時支援対応及び災害見舞金贈呈事業の実施
- (10) 無縁仏慰霊法要の実施
- (11) 車いす等福祉用具・福祉教育機器の貸し出し
- (12) 社会福祉大会の開催

◇ボランティア活動の推進

- (1) ボランティアの養成と各種講座の開催
- (2) ボランティア活動団体への助成
- (3) ボランティア連絡協議会への支援

◇福祉総合相談事業の推進

- (1) 結婚相談の実施
- (2) 健康・介護相談の実施
- (3) 福祉生活相談の実施
- (4) 相談員研修の充実

◇権利擁護事業の推進

- (1) 日常生活自立支援事業の実施
- (2) 市民後見推進事業の実施
- (3) 法人後見の受任
- (4) 中核機関の運営

◇共同募金運動の推進

- (1) 赤い羽根共同募金運動の推進
- (2) 歳末たすけあい運動の推進

◇低所得世帯の福祉対策

- (1) 緊急援護の実施
- (2) 生活福祉資金等貸付事業の実施
- (3) 高額療養費支払資金貸付事業の実施
- (4) 生活困窮者への支援

◇重層的支援体制整備事業

(アウトリーチ等を通じた継続的支援事業及び参加支援事業)

◇児童福祉対策

- (1) 障がい児居宅介護事業の実施
- (2) こども会等児童・青少年団体への援助
- (3) 子どもの居場所づくり事業の実施
- (4) サンウェルふれあい交流室の運営・子育て支援

◇高齢者福祉対策

- (1) 老人居宅介護事業の実施
- (2) 老人デイサービス事業の実施
- (3) 地域包括支援センターの受託運営
- (4) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施
- (5) 在宅介護者への支援
- (6) 市内の高齢者居場所づくり支援
- (7) 移動支援サービスの調査研究及び実施
- (8) シニア世代を中心とした介護予防等生きがいボランティアの育成

◇障がい者福祉対策

- (1) 障がい者福祉サービス・計画作成事業の実施
- (2) 声の「社協だより」の発行
- (3) 身体障がい者団体等の事業の援助・協力
- (4) 耳の日記念行事の協力

◇公益事業

- (1) 高齢者等福祉世代交流活動施設（千本プラザ）の管理運営
- (2) ぬまづ健康福祉プラザ（サンウェルぬまづ）の管理運営

◇収益事業

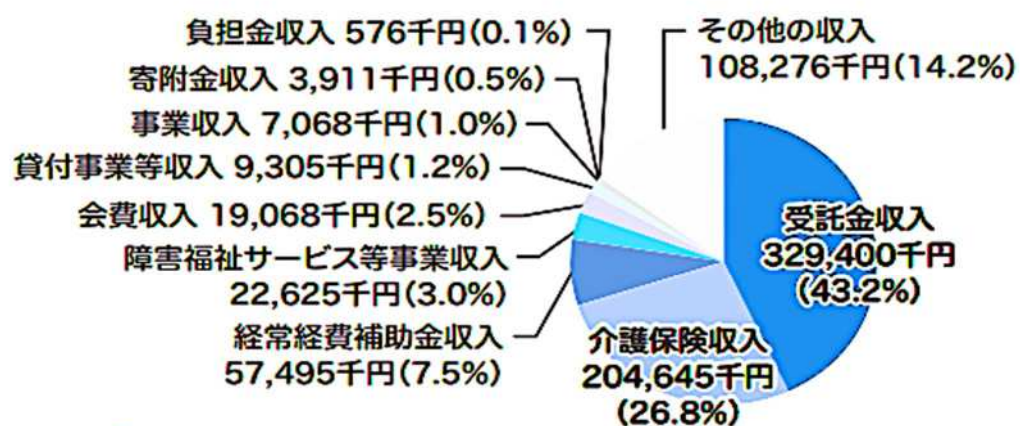
- (1) 不動産貸付事業の実施
- (2) 介護保険外サービス事業の実施

第3 令和7年度予算の概要

社会福祉・公益・収益事業合算

総 額 7 億 6,236 万 9 千円

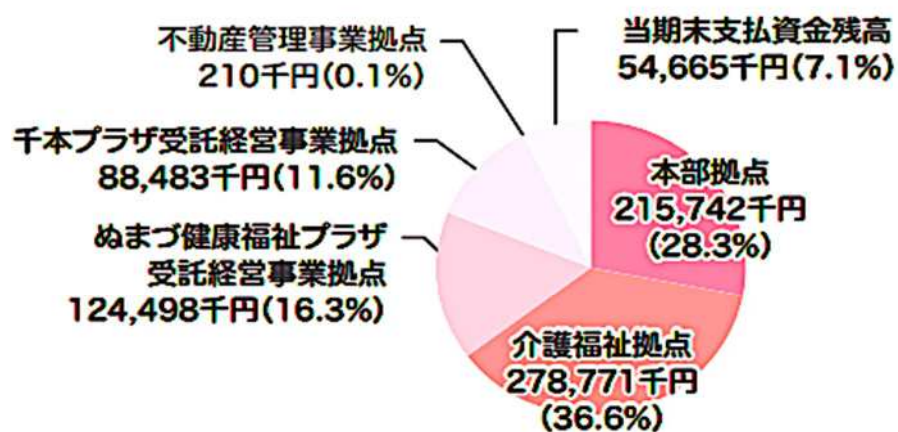
収 入



収入内訳

合計 **762,369** 千円

支 出



支出内訳

合計 **762,369** 千円

第4 令和7年度沼津市社会福祉協議会年間事業計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
●役員会						
		監事監査	評議員選任・解任委員会 理事会、評議員会			
●地域福祉推進事業						
・地区社協活動育成支援	地区社協広報活動（通年）					
			会長企画委員長会議			ささえあい講演会
・生活支援体制整備事業	生活支援コーディネート活動（通年）					
				セカンドライフ講座		居場所情報交換会
・子どもの居場所づくり コーディネート事業	相談・立ち上げ支援（通年）					
		居場所の連絡会		セミナー開催		
・重層的支援体制整備事業準備	断らない相談受付、ケース対応（通年）					
			市との協議			
●一般福祉対策事業						
・次世代ボランティア育成事業	福祉教育・出前講座（通年）					
				小学生福祉体験講座		
・社協だよりの発行（年4回）		「5/15号」発行			「8/15号」発行	
	「キモチと。」プロジェクト（通年）					
・チャリティーバザー ・「キモチと。」プロジェクト						
●福祉総合相談事業						
・福祉生活相談事業	平日10時～15時（通年）					
・結婚相談事業	第1・4水曜、第2日曜（通年）					
		結婚相談登録会			結婚相談登録会	
・健康・介護相談事業	第1・3水曜、午前のみ（通年）					
・相談所運営委員会		運営委員会	全体研修			
●福祉資金貸付事業						
・高額療養費支払資金貸付	貸付相談（通年）					
・生活福祉資金貸付	貸付・償還相談（通年）					
●権利擁護事業						
・日常生活自立支援事業	個別支援（通年）					
・市民後見推進事業	個別支援（通年）					
				啓発講演会		
・法人後見推進事業	個別支援（通年）					
		受任				
・中核機関実施事業		ケース検討会議		ケース検討会議		ケース検討会議 推進委員会
●ボランティアセンター事業						
・ちよいてつサービス事業	地区版ちよいてつ立ち上げ支援（通年）					
	ちよいてつ養成講座					
・ボランティアセンター 運営事業	ボランティア相談 第1・3金曜（通年）					
	地域活動ニュース発行 「べんぎん4/15号」		地域活動ニュース発行 「べんぎん6/15号」	運営委員会	地域活動ニュース発行 「べんぎん8/15号」	助成金交付
・ボランティア養成講座			災害ボランティアコー ディネーター養成講座			やさしい精神保健福祉 ボランティア養成講座
●共同募金運動推進事業						
・共同募金配分金事業	監査		共同募金運営委員会		共同募金運営委員会 こども配食サービス	
					各団体への協力依頼	
・赤い羽根共同募金運動						
・歳末たすけあい運動						

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
●役員会						
		理事会 評議員会				理事会 評議員会
●地域福祉推進事業						
・地区社協活動育成支援	地区社協広報活動（通年）					
		先進地区視察			地域福祉ワークショップ	
・生活支援体制整備事業	生活支援コーディネート活動（通年）					
					第1層協議体	
・子どもの居場所づくり コーディネート事業	相談・立ち上げ支援（通年）					
		居場所の連絡会		セミナー開催		
・重層的支援体制整備事業準備	断らない相談受付、ケース対応（通年）					
●一般福祉対策事業						
・次世代ボランティア育成事業	福祉教育・出前講座（通年）					
	福祉新聞発行	ポッチャ交流会		小学生福祉体験講座		
・社協だよりの発行（年4回）		「11/15号」発行		「1/15号」発行		
・チャリティーバザー ・「キモチと。」プロジェクト	「キモチと。」プロジェクト（通年）					
	チャリティーバザー					
●福祉総合相談事業						
・福祉生活相談事業	平日10時～15時（通年）					
・結婚相談事業	第1・4水曜、第2日曜（通年）					
				結婚相談登録会		
・健康・介護相談事業	第1・3水曜、午前のみ（通年）					
			サンウェルイベント での実施			
・相談所運営委員会			相談機関連絡会議			
●福祉資金貸付事業						
・高額療養費支払資金貸付	貸付相談（通年）					
・生活福祉資金貸付	貸付・償還相談（通年）					
●権利擁護事業						
・日常生活自立支援事業	個別支援（通年）					
・市民後見推進事業	個別支援（通年）					
					フォローアップ研修	
・法人後見推進事業	個別支援（通年）					
					審査委員会	受任
・中核機関実施事業		ケース検討会議	講演会 推進委員会	ケース検討会議		推進協議会 推進委員会 ケース検討会議
●ボランティアセンター事業						
・ちよいてつサービス事業	地区版ちよいてつ立ち上げ支援（通年）					
	フォローアップ講座					
・ボランティアセンター 運営事業	ボランティア相談 第1・3金曜（通年）					
	地域活動ニュース発行 「べんぎん10/15号」		地域活動ニュース発行 「べんぎん12/15号」	運営委員会	地域活動ニュース発行 「べんぎん2/15号」	助成金交付
・ボランティア養成講座		企業講座	傾聴ボランティア 養成講座	就労・生活支援講座	災害技術系ボランティア 養成講座	
●共同募金運動推進事業						
・共同募金配分金事業						共同募金運営委員会
・赤い羽根共同募金運動	赤い羽根共同募金運動（10月～12月）				各団体への協力依頼	
・歳末たすけあい運動			歳末たすけあい運動			

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
●在宅サービス事業						
・訪問介護事業 指定訪問介護事業所	訪問介護計画作成、モニタリング、訪問支援、請求業務（通年）					
・通所介護事業 千本デイサービスセンター	桜見学		防災訓練（火災） 交流事業		サマーコンサート	
・居宅介護支援事業 千本居宅介護支援事業所	基本相談、ケアプラン作成、モニタリング、給付管理、請求業務（通年）					
・地域包括支援センター 千本地域包括支援センター	地域ケア会議、居場所支援、基本相談、ケアプラン作成、モニタリング、給付管理、介護保険料集計（通年）					
	介護予防教室（毎週水曜、第１・３金曜）、認知症カフェ（毎月第３木曜、第４金曜）					
		認知症サポーター 養成講座 包括だより発行 「はつらつ春号」 ノルディックウォーキング 第二民児協情報交換会		権利擁護研修会	多職種事例検討会 認知症サポーター 養成講座	多職種事例検討会 認知症サポーター 養成講座
・障害者居宅介護事業 指定居宅介護事業所	訪問介護計画立案、モニタリング、訪問支援、同行援護、請求業務（通年）					
・障がい者相談支援事業 障がい者相談支援事業所	基本相談・特定相談、障がい児相談、請求業務（通年）					
●地域介護予防活動支援事業						
・生きがい創出事業	居場所立ち上げ・運営支援（通年）					
・介護予防ボランティア養成講座						
セカンドライフセミナー				講座（１回目）		
生活支援介護予防サポーター 養成講座		講座（１回目）				講座（２回目）
ノルディックサポーター 養成講座						
●福祉サービス事業の受託経営						
・サンウェルぬまづ受託経営事業					サンウェルぬまづ 運営委員会	防災訓練
(1)相談事業 育児相談	月～土曜（通年）					
(2)イベント						
情報センター事業	障がい・地域福祉・育児等の書籍の貸出（通年）					
ボランティア活動支援事業	運営ボランティアの育成・支援（通年）					
交流活動			情報ボランティア 体験会			ボランティア全体 活動写真展
居場所づくり事業	こいのぼり（４・５月）		七夕イベント	Welcome サンウェル 夏イベント		居場所講座
健康づくり支援事業			健康ライフ講座	リフレッシュヨガ	防災リュック講座	
(3)ふれあい交流室						
ミニイベント	アッスルタイム（通年）					
育児講座			色イロリトミック Little Cocoons	ママにおすすめ エクササイズ		赤ちゃんDAY 色イロリトミック
季節の催し			おしゃべりサロン （１回目）	パパとあそぼう （１回目）		おしゃべりサロン （２回目）
・千本プラザ受託経営事業						防災訓練
(1)主催事業						
季節のイベント・交流事業	千本プラザフェスティバル（４・５月）		七夕交流（６・７月）	夏のイベント（７・８月）		
居場所づくり		赤ちゃんDAY	赤ちゃんDAY	赤ちゃんDAY	赤ちゃんDAY	赤ちゃんDAY ０歳からのコンサート
教室開催事業	趣味の教室（通年）					
	開講式					
(2)その他						
その他	ミニギャラリー展示、なつかしの映画上映会（通年）					

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
●在宅サービス事業						
・訪問介護事業 指定訪問介護事業所	訪問介護計画作成、モニタリング、訪問支援、請求業務（通年）					
・通所介護事業 千本デイサービスセンター	紅葉見学		Xmas コンサート	初詣		
・居宅介護支援事業 千本居宅介護支援事業所	基本相談、ケアプラン作成、モニタリング、給付管理、請求業務（通年）					
・地域包括支援センター 千本地域包括支援センター	地域ケア会議、居場所支援、基本相談、ケアプラン作成、モニタリング、給付管理、介護保険料集計（通年）					
	介護予防教室（毎週水曜、第１・３金曜）、認知症カフェ（毎月第３木曜、第４金曜）					
	権利擁護研修会	包括だより発行 「はつらつ秋号」	多職種事例検討会 認知症サポーター 養成講座	ヒヤリング	包括だより発行 「はつらつ冬号」	
・障害者居宅介護事業 指定居宅介護事業所	訪問介護計画立案、モニタリング、訪問支援、同行援護、請求業務（通年）					
・障がい者相談支援事業 障がい者相談支援事業所	基本相談・特定相談、障がい児相談、請求業務（通年）					
●地域介護予防活動支援事業						
・生きがい創出事業	居場所立ち上げ・運営支援（通年）					
・介護予防ボランティア養成講座						
セカンドライフセミナー						
生活支援介護予防サポーター 養成講座	講座（３回目）	講座（４回目）	講座（５回目）		フォローアップ講座	
ノルディックサポーター 養成講座	フォローアップ研修					
●福祉サービス事業の受託経営						
・サンウェルぬまづ受託経営事業					防災訓練	
(1)相談事業						
育児相談	月～土曜（通年）					
(2)イベント						
情報センター事業	障がい・地域福祉・育児等の書籍の貸出（通年）					
			Xmas ディスプレイ		干支の飾り作品展	
ボランティア活動支援事業	運営ボランティアの育成・支援（通年）					
		運営ボラ「活動紹介展」 沼津市ボラ連 「活動発表会」			運営ボランティア全体 研修	
交流活動	ハロウィンイベント	Welcome サンウェル 冬イベント		ふれあいクリスマス		
居場所づくり事業						
健康づくり支援事業	心肺蘇生法講習会		お片付け講座			
(3)ふれあい交流室	アスルタイム（通年）					
ミニイベント	赤ちゃんDAY Little Cocoons	赤ちゃんDAY ママにおすすめ エクササイズ		赤ちゃんDAY	赤ちゃんDAY 色イロリトミック ママにおすすめ エクササイズ	
育児講座	親子でムーブメント遊び			おしゃべりサロン （３回目）	パパとあそぼう （２回目）	マタニティ講座
季節の催し		ふれあいコンサート	ふれあいクリスマス			
・千本プラザ受託経営事業						防災訓練
(1)主催事業						
季節のイベント・交流事業	秋のイベント		冬のイベント		春のイベント	
	30周年事業（～10月）					
居場所づくり	赤ちゃんDAY	赤ちゃんDAY	赤ちゃんDAY	赤ちゃんDAY	赤ちゃんDAY	
教室開催事業	趣味の教室（通年）					
						展示会・発表会
(2)その他						
その他	ミニギャラリー展示、なつかしの映画上映会（通年）					

社会福祉法人 沼津市社会福祉協議会役員等名簿

第1 理事・監事

令和7年6月19日現在

役 職 名	氏 名	関 係 公 職
会 長	礪 谷 明 正	学 識 経 験 者
副 会 長	小 林 昭	沼 津 市 自 治 会 連 合 会 会 長
〃	眞 野 由 里 子	沼 津 市 赤 十 字 奉 仕 団 委 員 長
常 務 理 事	中 島 康 司	学 識 経 験 者
理 事	池ノ谷 浩 之	沼 津 地 区 労 働 者 福 祉 協 議 会 会 長
〃	石 川 三 義	学 識 経 験 者
〃	岩 崎 裕 美	沼 津 市 手 を つ な ぐ 育 成 会 副 会 長
〃	加 藤 和 幸	沼 津 市 民 生 委 員 児 童 委 員 協 議 会 会 長
〃	瀧 口 真 一	沼 津 市 市 民 福 祉 部 長
〃	福 田 和 男	沼 津 市 地 区 社 会 福 祉 協 議 会 連 絡 協 議 会 会 長
〃	三 井 長 次	沼 津 地 区 保 護 司 会 会 長
〃	山 本 勲	沼 津 市 ボ ラ ン テ ィ ア 連 絡 協 議 会 会 長
監 事	真 田 剛	東 海 税 理 士 会 沼 津 支 部 副 支 部 長
〃	鈴 木 敬 人	学 識 経 験 者

第2 評 議 員

令和7年6月19日現在

氏 名	関 係 公 職
石 原 厚	沼 津 市 商 工 会 事 務 局 長
井 原 英 雄	沼 津 商 工 会 議 所 事 務 局 長
遠 藤 宗 男	一 般 社 団 法 人 沼 津 教 育 振 興 会 事 務 局 長
大 川 皓 平	一 般 社 団 法 人 沼 津 青 年 会 議 所 理 事 長
長 田 直 樹	沼 津 市 福 祉 施 設 連 絡 協 議 会 副 会 長
小 池 邦 廣	沼 津 市 老 人 ク ラ ブ 連 合 会 会 長
小 林 規 矩 夫	沼 津 市 子 ど も 会 育 成 連 絡 協 議 会 副 会 長
佐々木 美代子	沼 津 市 身 体 障 害 者 福 祉 会 文 化 部 長
田 中 功	沼 津 市 災 害 ボ ラ ン テ ィ ア コ ー デ ィ ネ ー タ ー 協 会 会 長
露 木 博 幸	公 益 社 団 法 人 成 年 後 見 セ ン タ ー ・ リ ー ガ ル サ ポ ー ト 静 岡 支 部
中 山 勝	学 識 経 験 者
山 内 良 太	沼 津 市 福 祉 事 務 所 長
横 山 政 遵	沼 津 市 仏 教 会 会 長

地区社会福祉協議会一覧表

No.	地区社会福祉協議会名	設立年月日
1	大岡地区社会福祉協議会	平成元年5月28日
2	大平地区社会福祉協議会	平成元年8月20日
3	浮島地区社会福祉協議会	平成元年9月1日
4	愛鷹地区社会福祉協議会	平成元年10月27日
5	西浦地区社会福祉協議会	平成2年8月19日
6	今沢地区社会福祉協議会	平成2年11月15日
7	第四地区社会福祉協議会	平成2年12月11日
8	開北地区社会福祉協議会	平成4年2月27日
9	第三下香貫地区社会福祉協議会	平成4年2月28日
10	片浜地区社会福祉協議会	平成4年3月18日
11	第五地区社会福祉協議会	平成4年10月31日
12	金岡地区社会福祉協議会	平成4年12月7日
13	第二地区社会福祉協議会	平成4年12月13日
14	内浦地区社会福祉協議会	平成5年11月28日
15	静浦地区社会福祉協議会	平成6年2月19日
16	原地区社会福祉協議会	平成6年12月13日
17	第三地区社会福祉協議会	平成9年3月8日
18	門池地区社会福祉協議会	平成11年12月17日
19	戸田地区社会福祉協議会	平成17年4月25日
20	第一地区社会福祉協議会	平成25年5月17日

社会福祉法人 沼津市社会福祉協議会の沿革

西暦 和暦	内 容	歴代会長
1951年 昭和26年	・沼津市社会福祉協議会設立総会を沼津市役所で開催（10月2日）	井口 勲 <1951.4～ 1953.12>
1952年 昭和27年	・静岡県福祉資金制度の創設に伴い、同資金申込み受付事務を開始	
1953年 昭和28年	・老人福祉週間（9月15日から21日）にあたり、敬老感謝演芸会を沼津市社協、連合婦人部、赤十字奉仕団の共催で実施 ※昭和31年度以降は市の事業	
1954年 昭和29年	・「耳の日無料相談会」を開始 ※以後、毎年3月3日を「耳の日」と定め実施。平成4年度以降は「耳の日聞こえの相談と記念講演のつどい」に変更し実施	勝又嘉一 <1954.4～ 1962.3>
1955年 昭和30年	・共同募金の配分金を得て、児童遊園の設置、拡充を図る	
1958年 昭和33年	・市民全戸が社会福祉協議会の一般会員として加入し、地域組織活動の強化を拡充する（一般会費 一戸年額10円） ・沼津市子ども会世話人連合会（以下「沼子連」）が結成される（昭和34年2月28日。子ども大会等の実施や福祉に欠ける児童の発見、見送りに協力する。）	
1959年 昭和34年	※全国的に共同募金倍加運動が展開される ・内職共同授産所を開設 （低所得世帯の更生を図るため、全国に例のない民間会社の協力によって実施。矢崎内職共同授産所へ就労斡旋。）	
1961年 昭和36年	・「心配ごと相談所」を福祉事務所内の生活相談室に置き、毎日9時から15時までの間、民生委員が交替で相談に応じる ・小口資金、緊急援護、経費診療などの限度額（3千円）を5千円に改定 ・「目の愛護デー無料相談」を盲学校と共催で実施（10月10日） ※以後、昭和51年度まで毎年度実施	
1963年 昭和38年	・「心配ごと相談所」を福祉事務所から蓮光寺地藏堂に変更して毎日開催 ・「結婚相談事業」を開始	塩谷六太郎 <1962.4～ 1969.7>
1966年 昭和41年	・理事会及び総会において「社会福祉法人沼津市社会福祉協議会設立認可申請」、「沼津市社会福祉協議会解散」及び「沼津市社会福祉協議会基本財産及び運用財産の寄付」を議決し、厚生大臣あてに「社会福祉法人認可申請書」を提出（9月30日） ・昭和42年2月28日付けをもって、厚生大臣から「社会福祉法人沼津市社会福祉協議会」の設立が認可	
1967年 昭和42年	・医療援護及び小口資金の貸付限度額（5千円）を1万円に改定	
1969年 昭和44年	・「心配ごと相談事業」を、市からの委託事業として実施 ※平成2年度以降は社協の自主事業に切り替え、平成3年度には「福祉総合相談事業」と改称 ・「第1回沼津市社会福祉大会～福祉沼津の実現をはかるために」を市役所大会議室で開催（6月6日） （功労者の表彰と感謝状の贈呈、大会宣言、福祉映画の上映など）※以後、隔年開催 ・老人社会活動促進事業を老人福祉センター内で開始 ※昭和47年度以降は「高齢者職業相談事業」に改称。平成3年度以降は自主事業（補助対象）となり、平成8年度以降は「福祉総合相談事業（福祉生活相談）」に統合 ・社協広報活動として「社協だより第1号」を発刊 （第2号以降発行休止、昭和55年5月15日再発行）	原 精一 <1969.8～ 1972.3>

西暦 和暦	内 容	歴代会長
1971年 昭和46年	・「福祉会館建設資金」の積立を開始 ・社会福祉協議会の一般会費（年額10円）を20円に改定、「特別会費年額千円以上」を新設 ・「狩野川台風殉難者大追悼会」を主催 ・社会福祉事業法制定20周年記念 ・「第2回沼津市社会福祉大会」を開催	原 精一 <1969.8～ 1972.3>
1972年 昭和47年	・社会福祉協議会の一般会費（年額20円）を30円に改定 ・市からの受託事業「老人社会活動促進事業」を「高齢者職業相談事業」に改称	清水清二 <1972.4～ 1973.8>
1973年 昭和48年	・65歳以上の低所得世帯ねたきり老人を対象に、希望世帯に「テレビ貸与」を実施 ・老人福祉センター送迎用バスの運行事業を開催 ・「第3回沼津市社会福祉大会」を開催	
1974年 昭和49年	・社会福祉協議会の一般会費（年額30円）を50円に改定 ・財団法人老人福祉研究会より入浴サービス車1台の貸与を受け、ねたきり高齢者を対象とした巡回による入浴サービス事業が開始されるに伴い、同事業に老人家庭奉仕員（2人）を派遣	大島佐重 <1973.9～ 1982.3>
1975年 昭和50年	・「くらしの資金貸付制度」を新設 ・「無縁仏供養」の開催を市から受託 ※平成2年度以降は社協事業として実施 ・「社会奉仕活動センター」を開設（昭和51年1月1日） ・「第4回沼津市社会福祉大会」を開催	
1976年 昭和51年	・交通産業災害遺児援護基金を設立（昭和51年に指定寄附金を積立） ・点訳ボランティアにより「点字列車時刻表」を作製（社会奉仕活動センター事業。昭和57年度以降は「点字カレンダー」を作製） ・ボランティアによる「福祉施設への奉仕」「在宅児者への奉仕」「福祉施設の清掃奉仕」等を実施	
1977年 昭和52年	・「高額療養費支払資金貸付制度」を新設（4月1日） ・「第5回沼津市社会福祉大会」を開催	
1978年 昭和53年	・ボランティア活動のための拠点として、静岡県ボランティア協会が八幡町に「静岡県東部ボランティアビューロー」を開設（～昭和56年度） ・「ボランティア交流会」を開催 ・「おもちゃ病院」を開設 ・「ボランティア相談コーナー」を開設	
1979年 昭和54年	・「被保護世帯の高校新入学者支度援助」（祝金1万円）を開始 ・「車いすの貸出サービス」を開始 ・「第6回沼津市社会福祉大会」を開催	
1980年 昭和55年	・社会福祉協議会の一般会費（年額50円）を100円に改定 ・「自閉症児童援護のための助成」を実施（親の会の活動の支援） ・「手芸ボランティアスクール」を開催 ・社協広報紙「社協だより第1号」を再刊行（市内全世帯に配布。平成7年5月「ふれあいねっとわ〜く」と改題） ・「静岡県東部ふれあい広場」を開催	
1981年 昭和56年	・静岡県ボランティア協会開設による「静岡県東部ボランティアビューロー」を、沼津市社会福祉協議会開設による「沼津ボランティアビューロー」に改組（昭和57年2月1日） ・「第7回沼津市社会福祉大会」を開催	
1982年 昭和57年	・ボランティアビューローに常駐職員を配置し、ボランティアの開発、ニーズの把握、開拓に努める ・点訳ボランティアにより、点字列車時刻表のほか「点字カレンダー」が作製	芹澤喜久雄 <1982.4～ 1984.3>

西暦 和暦	内 容	歴代会長
1983年 昭和58年	・ボランティアビューローに専任常駐職員（1人）を配置 ・「中高生ボランティアスクール」を開催 ・「第8回沼津市社会福祉大会」を開催	芹澤喜久雄 <1982.4～ 1984.3>
1984年 昭和59年	・大岡地区を「福祉推進モデル地区」に指定し、「ことぶきサロン」を開始（開北：60年度以降、金岡地区：63年度以降、片浜地区：平成2年度） ・「アイ ボランティア養成講座」（一日点字教室、朗読と語り部奉仕者養成講座）を開催 ・「福祉とボランティアを考える市民講座」を開催 ・「沼津ことばの教室」を開催	遠藤武雄 <1984.4～ 1994.3>
1985年 昭和60年	・ボランティアビューロー常駐職員として、ボランティアコーディネーターを配置 ・静岡県社会福祉協議会の「地域福祉推進モデル事業地区」の指定を受け、沼津市における地域福祉推進活動の方向を求めて、実験的モデル地区を大岡地区に設定 ・「第9回沼津市社会福祉大会」を開催	
1986年 昭和61年	・大岡中学校が、静岡県社会福祉協議会より「福祉実践校」の指定を受ける（昭和61年度～63年度） ・社会福祉協議会会員規程の内容に「福祉事業会員（会費年額5千円）」を新設	
1987年 昭和62年	・ボランティアグループに対する助成を実施（ボランティア保険の保険料・グループ活動の助成） ・地域福祉の理解・啓発活動として「福祉に関する映画会」を開催（昭和62年から平成2年度。平成3年度以降は、各地区社協活動として実施） ・「第10回沼津市社会福祉大会」を開催	
1988年 昭和63年	・地区社会福祉協議会設立準備のため視察・研修等を実施 ・「第1回沼津市社会福祉展」を開催（平成元年2月16日～18日）	
1989年 昭和64年 (平成元年)	・市内4地区で「地区社会福祉協議会」が発足（5月：大岡地区、8月：大平地区、9月：浮島地区、10月：愛鷹地区） ・「チャリティバザール」を開催（平成元年11月12日） ・「第11回沼津市社会福祉大会」を開催	
1990年 平成2年	・ボランティアビューロー（昭和53年開設）を八幡町から真砂町に移転 ・市内3地区で、「地区社会福祉協議会」が発足（8月：西浦地区、11月：今沢地区、12月：第四地区。市内で7地区社協となる） ・「在宅介護者リフレッシュ事業」を実施（平成5年に「在宅介護者の会」が発足する）	
1991年 平成3年	・市内3地区で「地区社会福祉協議会」が発足（2月：開北地区、第三下香貫地区、3月：片浜地区。市内で10地区社協となる） ・「ふれあい福祉センター」を開設（従来の各種相談事業を一本化し、福祉情報センター機能を強化） ・「小地域福祉ネットワークづくり事業」を実施（地区社会福祉協議会の組織化と活動の活発化を図る） ・「福祉施設地域福祉啓発事業」を実施（福祉施設連絡協議会の組織を発展） ・「地区社会福祉協議会連絡協議会」を設立 ・「相談機関連絡協議会」を開催 ・「第12回沼津市社会福祉大会」を開催	
1992年 平成4年	・社会福祉協議会の一般会費（年額100円）を200円に改定 ・市内3地区で「地区社会福祉協議会」が発足（10月：第五地区、12月：金岡地区、第二地区。市内で13地区社協となる） ・「耳の日聞こえの相談と記念講演のつどい」を実施（「耳の日無料相談会」から改称） ・「母子・父子家庭、交通・産業遺児レクリエーション事業」を実施	

西暦 和暦	内 容	歴代会長
1993年 平成5年	・市内2地区で「地区社会福祉協議会」が発足（11月：内浦地区、2月：静浦地区。市内で15地区社協となる。） ・「地域福祉活動計画」の策定に着手 ・「沼津市在宅家族の会設立総会」が開催 ・「第13回沼津市社会福祉大会」を開催	遠藤武雄 <1984.4～ 1994.3>
1994年 平成6年	・市内1地区で「地区社会福祉協議会」が発足（12月：原地区。市内で16地区社協となる） ・「地域住民が主役の福祉のまちづくり運動」実施期間 ・「沼津市社会福祉協議会地域福祉活動計画」を策定 ・「社会奉仕活動センター」を「ボランティアセンター」に改称	芹澤茂男 <1994.4～ 2001.3>
1995年 平成7年	●第1次地域福祉活動計画 <期間：平成7年4月～平成13年3月> ・高齢者等福祉世代交流活動施設「千本プラザ」（世代交流センター・老人福祉センター・千本在宅介護支援センター・千本デイサービスセンター）の管理運営及び入浴サービス事業の運営を沼津市から受託 ・「やさしい精神保健ボランティア講座」を開催 ・社協広報紙「社協だより」を第48号から「社協だより ふれあいねっとわ〜く」に改題 ・「第14回沼津市社会福祉大会」を開催	
1996年 平成8年	・市内1地区で「地区社会福祉協議会」が発足（3月：第三地区。市内で17地区社協となる） ・福祉総合相談所「ふれあい福祉相談センター」を開設（福祉生活相談、結婚相談、ボランティア相談、介護健康相談に改編） ・沼津市ボランティア連絡協議会「総会」を開催 ・社会福祉協議会「45年史・社会福祉法人設立30周年」記念誌の編集 ・「託児ボランティア養成講座」の開催	
1997年 平成9年	・「第15回沼津市社会福祉大会」を開催	
1998年 平成10年	・青少年ふれあい交流事業の開催 ・福祉施設地域福祉活動啓発事業の実施（「福祉施設連絡協議会」活動の福祉施設見学研修会、福祉施設利用者作品展示販売、福祉施設職員一泊研修交流会等の実施）	
1999年 平成11年	・市内1地区で「地区社会福祉協議会」が発足（12月：門池地区。市内で18地区社協となる） ・「録音グループボランティア養成講座」の開催 ・「在宅介護ボランティア養成講座」の開催 ・「第16回沼津市社会福祉大会」を開催	
2000年 平成12年	・介護保険法に施行に伴い、介護保険事業所の指定を得て、「訪問介護」「通所介護」「居宅介護支援」の居宅介護事業を開始 ・地域福祉権利擁護事業を静岡県社会福祉協議会から受託	山本三朗 <2001.4～ 2008.3>
2001年 平成13年	・ボランティア登録団体、グループ数の登録数56団体 ・沼津市から「いきいきホーム松下」の運営を受託（10月） ・「第17回沼津市社会福祉大会」を開催	
2002年 平成14年	・片浜小学校、第二中学校、片浜中学校を「福祉教育実践校」に指定（平成14年度～16年度）	
2003年 平成15年	・沼津市社会福祉会館を高沢町から千本に移転（2月23日） ・居宅支援費事業「沼津市社会福祉協議会障害者（児）居宅介護事象所」の指定を受ける ・「第18回沼津市社会福祉大会」を開催	

西暦 和暦	内 容	歴代会長
2004年 平成16年	・地域と学校が連携してより良い福祉教育を展開していくことを目的に「福祉教育・セミナー」を開催	山本三朗 <2001.4～ 2008.3>
2005年 平成17年	・市内1地区で「地区社会福祉協議会」が発足（4月：戸田地区。市内で19地区社協となる） ・千本小学校、沼津中央高等学校を「福祉教育実践校」に指定（平成17年度～19年度） ・「第19回沼津市社会福祉大会」を開催	
2006年 平成18年	●第2次地域福祉活動計画 <期間：平成18年4月～平成23年3月> ・沼津市より「災害ボランティアコーディネーター養成講座」を受託 ・沼津市より「沼津市中央地区千本地域包括支援センター」を受託	
2007年 平成19年	・沼津市から「ぬまづ健康福祉プラザ」の指定管理を受託（12月1日） ・沼津市社会福祉協議会の事務所をサンウェルぬまづ内に移転 ・「沼津市ボランティアビューロー」の閉鎖 ・「第20回沼津市社会福祉大会」を開催	
2009年 平成21年	・「傾聴ボランティア養成講座」を開講 ・「第21回沼津市社会福祉大会」を開催	日高達也 <2008.4～ 2013.3>
2010年 平成22年	・東日本大震災（平成23年3月11日）発生後、被災地支援として岩手県下閉伊郡山田町に応援職員（8名）を派遣（～平成23年度まで続く） ・リーマンショックの影響により貸付資金の件数が大幅に増加	
2011年 平成23年	●第3次地域福祉活動計画 <期間：平成23年4月～平成28年3月> ・「第22回沼津市社会福祉大会」を開催	
2012年 平成24年	・沼津中央高等学校を「福祉教育実践校」に指定（平成23年～24年度）	
2013年 平成25年	・市内1地区で「地区社会福祉協議会」が発足（5月：第一地区。市内で20地区社協となる） ・婚活事業として「サンウェル de 愛カフェ」を開催 ・「第23回沼津市社会福祉大会」を開催 ・西伊豆町豪雨災害（7月18日）発生後、被災地支援として賀茂郡西伊豆町に応援職員（1名）を派遣 ・豪雪非常災害（平成26年2月14日～16日）発生後、被災地支援として駿東郡小山町に応援職員（4名）を派遣	佐野謹爾 <2013.4～ 2017.6>
2014年 平成26年	・第一中学校、片浜中学校、沼津高等学校中等部、沼津西高等学校を「福祉教育実践校」に指定	
2015年 平成27年	・「第24回沼津市社会福祉大会」を開催 ・関東・東北豪雨災害（9月10日～11日）発生後、被災地支援として茨城県常総市に応援職員（1名）を派遣	
2016年 平成28年	●第4次地域福祉活動計画 <期間：平成28年4月～令和3年3月> ・沼津市より「市民後見推進事業」を受託し、「市民後見人養成講座」を開催 ・介護保険外サービス事業を開始 ・法人後見を受任 ・「駅北居宅介護支援事業所」を開所 ・熊本地震（4月14日）発生後、被災地支援として熊本県阿蘇郡西村町に応援職員（1名）を派遣	

西暦 和暦	内 容	歴代会長
2017年 平成29年	・沼津市として1人目（静岡県内2人目）の市民後見人が誕生（12月） ・「ちょいてつサービス入門講座」を開始 ・「沼津市社会福祉協議会法人化50周年、サンウェルぬまづ10周年記念イベント」を開催 ・「さっさかエクササイズ」をアスルクラロ沼津と共同で作成 ・「第25回沼津市社会福祉大会」を開催	工藤達朗 <2017.6～ 2025.6>
2018年 平成30年	・沼津市より「生活支援体制整備事業」を受託 ・政策運営会議により社内での情報共有を図る ・西日本豪雨災害（7月5日～8日）発生後、被災地支援として広島県呉市に応援職員（3名）を派遣	
2019年 平成31年 (令和元年)	・居場所に関する相談支援・居場所連絡会の実施 ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う「緊急小口資金等特例貸付」開始（令和元年3月～令和4年9月まで） ・「第26回沼津市社会福祉大会」の開催 ※会場を沼津市民文化センターからサンウェルぬまづに移す ・房総半島台風による災害（9月9日）発生後、被災地支援として千葉県富津市に応援職員（2名）を派遣 ・東日本台風による災害（10月13日）発生後、被災地支援として長野県長野市に応援職員（1名）を派遣 ・沼津市社協人材育成方針を作成し、職員教育を充実させる（新規採用研修、部署間連携研修、テーマに沿ったグループ研究、経営感覚向上研修）	
2020年 令和2年	・沼津市から「ひとり親家庭等生活向上事業『こどもの居場所』」を受託 ・新型コロナウイルス感染症の蔓延により、「オンライン通いの場」の試行実験を実施 ・「駅北居宅介護支援事業所」、「いきいきホーム松下」の廃止（3月31日） ・5部門の委員会を設置（広報委員会、財政基盤強化検討委員会、研修委員会、地域福祉活動計画委員会、沼津市社会福祉大会実行委員会）	
2021年 令和3年	●第5次地域福祉活動計画 <期間：令和3年4月～令和7年3月> ・第4次沼津市地域福祉計画（沼津市）と第5次地域福祉活動計画（沼津市社協）を合冊で策定 ・組織改編を行い、福祉企画課、介護支援課、施設管理課、生活支援センターを設置 ・特定相談支援事業及び障害相談支援事業を開始（4月1日） ・熱海市伊豆山土石流災害（7月3日）発生後、被災地支援として熱海市に応援職員（3名）を派遣 ・大雨による原・浮島地区の水害対策支援として「地域ささえあいセンター」を設置（7月7日～22日） ・沼津市より「沼津市成年後見支援センター」を受託し、開所（10月1日） ・「沼津市千本デイサービスセンター」を「千本デイサービスセンター」に名称変更 ・「第27回沼津市社会福祉大会」の開催	
2022年 令和4年	・沼津市より「沼津市子どもの居場所づくりコーディネート事業」を受託 ・ブックオフコーポレーション(株)と宅配買取寄附サービス「キモチと。」に取り組む ・1部門の委員会を新たに設置（災害支援対策委員会） ・台風8号による大雨災害（8月14日）発生後、被災地支援として賀茂郡松崎町に応援職員（3名）を派遣 ・台風15号による大雨災害（9月23日）発生後、被災地支援として静岡市清水区に応援職員（18名、21回）を派遣 ・地域福祉の増進に向けた連携協定の締結（5団体） ①ブックオフコーポレーション株式会社 ②沼津信用金庫 ③一般社団法人沼津青年会議所 ④アスルクラロスルガ株式会社 ⑤学校法人青淵学園 東都大学 （相互の資源を活用し、健康と福祉の増進に資するための包括的連携協定）	

西暦 和暦	内 容	歴代会長
2023年 令和5年	・台風2号による大雨災害、原・浮島・大岡・第五南地区の水害対策支援として「沼津市災害ボランティアセンター」を設置（6月2日～8月30日） ・マックスバリュ東海㈱の協力により、買物困難者を対象にした移動スーパーを展開（6月1日～） ・「第28回沼津市社会福祉大会」の開催 ・能登半島地震（令和6年1月1日）発生後、被災地支援として石川県珠洲市に支援調整職員（1名）、同県七尾市に応援職員（1名）を派遣 ・地域福祉の増進に向けた連携協定の締結 ①学校法人青淵学園 東都大学（災害資機材保管場所貸借に関する協定） ②沼津市 ③沼津ライオンズクラブ	工藤達朗 <2017.6～ 2025.6>
2024年 令和6年	・令和6年6月豪雨による大雨災害、大平・静浦地区の水害対策支援として「沼津市災害ボランティアセンター」を設置（6月19日～9月14日） ・地域福祉の増進に向けた連携協定の締結 ①沼津香陵ライオンズクラブ（災害ボランティアセンター支援に関する連携協定） ②株式会社ルネサンス、沼津市（災害時における施設一時使用等に関する協定）	

社会福祉協議会 シンボルマーク



社会福祉および社協の『社』を図案化し、「手を取りあって、明るいしあわせな社会を建設する姿」を表現しています。
(昭和 47 年 6 月制定／全社協)

沼津市の社協活動

2025

発行者 社会福祉法人

沼津市社会福祉協議会

〒410-0032 沼津市日の出町 1-15

サンウェルぬまづ
(ぬまづ健康福祉プラザ)

電話 055(922)1500

FAX 055(922)1502



「福祉のまちづくり」をすすめる社協活動の拠点

サンウェルぬまづ

(ぬまづ健康福祉プラザ)

〒410-0032 沼津市日の出町 1-15

- 社会福祉法人 沼津市社会福祉協議会
沼津市共同募金委員会
TEL 055-922-1500 FAX 055-922-1502
Eメール: info@numazu-shakyo.jp
ホームページ: http://numazu-shakyo.jp/
- 沼津市成年後見支援センター
TEL 055-924-4455 FAX 055-924-4457

- サンウェルぬまづ管理事務所
TEL 055-922-2020 FAX 055-922-1502
Eメール: info@n-plaza.jp
ホームページ: http://www.n-plaza.jp/
- ふれあい交流室
TEL 055-922-1501 FAX 055-922-0102
- 福祉相談センター
TEL 055-922-1350

千本プラザ

(沼津市高齢者等福祉世代交流活動施設)

〒410-0867 沼津市本字千本 1910-206

- 千本プラザ管理事務所
- 沼津市世代交流センター
- 沼津市老人福祉センター
TEL 055-962-3313
FAX 055-962-5346
Eメール: senbon-plaza@yr.tnc.ne.jp
HP: https://senbon-plaza.sakura.ne.jp/
- 千本地域包括支援センター
TEL 055-962-5932
FAX 055-962-5348
- 千本デイサービスセンター
TEL 055-962-5923
FAX 055-962-5348



千本ホームヘルプ・ ケアマネジメントセンター

〒410-0853 沼津市常盤町 1-19-1

- | | | |
|--------------|------------------|------------------|
| ■指定訪問介護事業所 | TEL 055-955-5100 | FAX 055-951-0034 |
| ■指定居宅介護事業所 | TEL 055-955-5100 | FAX 055-951-0034 |
| ■千本居宅介護支援事業所 | TEL 055-951-0003 | FAX 055-951-0034 |
| ■障がい者相談支援事業所 | TEL 055-955-5099 | FAX 055-955-5099 |

■千本地域包括支援センター 第四支所

〒410-0836

沼津市吉田町 25-2

浜ビル 1 階

TEL 055-939-7300
FAX 055-939-7301